

建築改修工事仕様書

I. 工事概要

1. 工事場所 鳥取市湖山町西四丁目

2. 敷地面積 1,072,700.82 m²

3. 地域地区 都市計画地域(○内・外) 市街化調整区域(○内・外)

用途地域(○指定なし) 防火地域(○指定なし)

4. 建物概要

番号	名称	工事種別	構造	階数	建築面積(m ²)	延べ面積(m ²)
1	国際線ターミナル	改修	S造	3	2,446.63	4,265.23
2	中央棟	改修	S造	2	950.33	1,323.81
3	国内線ターミナル	改修	R C造	3	2,453.71	3,065.40

II. 建築改修工事仕様

1. 共通仕様

(1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官庁官庁管理本部制定「**公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版**」(以下、「改修標準仕様書」という。)による。ただし、改修標準仕様書に規定されている項目以外は、国土交通省大臣官庁官庁管理本部制定「**公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版**」(以下、「標準仕様書」という。)による。

(2) 請負者は、建築基準法に基づく完了検査(中間検査含む)の検査には、特定行政庁(建築主事等)が求める検査に必要な資料等(報告書等)を用意する。

(3) 電気及び機械設備改修を本工事に含む場合、電気及び機械設備改修はそれぞれの工事仕様書を適用する。

2. 特記仕様

(1) 項目は番号に○印のついたものを適用する。

(2) 特記事項は○印のついたものを適用する。
○印と△印のついた場合は、※印のついたものを適用する。
△印と◎印のついた場合は共に適用する。

(3) 項目に記載[]の内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
()の内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

(4) [◎]印は、「国等による環境物品等の調達に関する法律」(以下「グリーン購入法」という。)の特定調達品目とする。判断の基準は「環境物品等の調達の推進に関する基本方針(令和4年2月25日変更閣議決定)」(環境省のホームページがダウンロード可能)による。

(5) 関係法令(条約を含む)の改正等により、工事内容が法令等に抵触する恐れがあることを認識した場合には、その対応等について、監理職員と協議を行うものとする。

(6) 材料及び製造所等の記載は異なるとする。

7. 材料の品質等 [1. 4. 2]

3) ホルムアルデヒド放散量の区分において、第三種とは次の①又は②に該当する材料を指す。
① 建築基準法施行令第20条の第7項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料
② 建築基準法施行令第20条の第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(平成12年法律第100号)に基づく環境物品等の調達の推進に関する基本方針における公共工事の配慮事項(資材(材料及び機材を含む)の梱包及び容器は、可能な限り簡易であって、再生利用の容易さ及び廃棄時の負担軽減に配慮されていること。)に留意する

材料・機材等の品質及び性能

1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。

2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承認を受ける。

3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。

4) 本工事に使用する材料のうち、5)に指定する材料の製造業者等は、次の①~⑥の事項を満たすものとし、その証明となる資料(外部機関が発行する証明書の写し)を監督職員に提出して承認を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承認を受けた場合はこの限りではない。
① 品質及び性能に関する試験データが整備されている。
② 生産施設及び品質の管理が適切に行われている。
③ 安定的な供給が可能である。
④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得している。
⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性がある。
⑥ 販売、保守等の営業体制が整えられている。

5) 製造業者等に関する資料の提出を定める材料

8. 石綿含有建材の調査 [1. 5. 1]

調査

※石綿含有建材の事前調査

工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う旨を資料()に示す。

・分析による石綿含有建材の調査

分析対象
アクリノライト、アモサイト、アンソフサイト、クリノサイト、クロソライト、トレモライト

分析方法

材料名	分析方法(定性)		分析方法(定量)	
	JIS A 1481-1又はJIS A 1481-2	JIS A 1481-3又はJIS A 1481-4		
・ 箇所		・ 箇所		
・ 箇所		・ 箇所		
・ 箇所		・ 箇所		
・ 箇所		・ 箇所		

材料が仕上塗材の場合は、箇ごとの分析を行うこと
サンプル数 1箇所あたり3サンプル
採取箇所 ・ 箇所

9. 施工数量調査 [1. 6. 2]

調査範囲 ※外壁(庇、並木) ・ 屋根 ・ 図示
調査方法 ※ストハンマーによる打診及び目視 ・ 図示
外壁調査は、外壁改修フローに対応する外壁面のひび割れ、浮き、欠損部、内部まで貫通したひび割れ及び雨漏りの有無についての位置及び数量(幅、長さ、面積)の調査を行う
屋根調査は、防水面のひび割れ、浮き、欠損部、目地欠損部及び雨漏りの有無についての位置及び数量(幅、長さ、面積)の調査を行う。
また、その報告書は、調査結果を立面図等に記載し集計表を添えて監督職員に2部提出する(必要に応じて写真等を添付する。)

10. 調査のための破壊部分の補修 [1. 6. 3]

補修方法 ※ 図示

11. 技能士 [1. 7. 2]

下表により適用する技能士は、適用する工事中、1名以上の者が自ら作業をするとともに、他の技能者に対して、施工品質の向上を図るための作業指導を行う
(技能士:職業能力開発促進法による一般技能士又は第一等級の資格を有する者)
また、その技能士はその者が技能士であることがわかる名札(下図参照)を常時着用する

工事種目	技能検定職種	技能検定作業
仮設工事		○ とび作業
防水改修工事	防水施工	・ アスファルト防水工事 ・ ウレタンゴム系塗膜防水工事 ・ アクリルゴム系塗膜防水工事 ・ 合成ゴム系シート防水工事 ・ 塩化ビニル系シート防水工事 ・ セメント系防水工事 ○ シーリング防水工事 ・ 改質アスファルトシートトーチ工 防水工事 ・ FRP防水工事
外装改修工事	樹脂接着剤注入施工 左官 タイル張り	・ 樹脂接着剤注入工事 ・ 左官作業 ・ タイル張り作業
建築改修工事	サッシ施工 ガラス施工 自動ドア施工 器具製作 ガラス用フィルム施工	・ ビル用サッシ工 ・ ガラス工事 ・ 自動ドア施工 ・ 木製建築加工 ・ 建築フィルム作業
内装改修工事	建築大工 内装仕上施工	・ 大工工事 ・ 内外装修金作業 ・ 鋼筋下地工事 ・ フラスチック系仕上げ工事 ・ カーベツト系仕上げ工事 (2級及びフラスチック系仕上げ工事を含む)
	表装 左官 タイル張り	○ ボード仕上げ工事 ・ 壁装作業 ・ 左官作業 ・ タイル張り作業

12. 化学物質の濃度測定 [1. 7. 9]

1) 測定対象室のホルムアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼン等の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督職員に報告する。
・パラジクロロベンゼンを追加して分析を行う
測定対象室()

2) パップ型採取機器を用いて測定を行う場合には、次の要領で測定及び分析を行う。
① 30分間換気
測定対象室のすべての窓及び扉(造り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉を含む)を開放し、30分間換気する。
② 5時間閉鎖
①の後、測定対象室すべての窓及び扉を5時間閉鎖する。ただし、造り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉は開放したままとする。
③ 測定
①②の状態のまま測定する。
④ 測定時間は、原則として2.4時間とする。ただし、工程等の都合により、2.4時間測定が行えない場合は、8時間測定とする。なお、8時間測定の場合は、午後2時~3時が測定時間の中央となるよう、1.0時30分~1.8時30分までの時間帯で測定する。
⑤ 測定回数は1回とし、複数回の測定は不要とする。

④分析
測定対象化学物質を採取したパップ型採取機器を分析機関に送付し、濃度を分析する。
⑤その他
監督職員から測定方法に関する注意事項等の指示を受ける。

下記のものに監督職員に提出する。

区分	分類・規格	撮影箇所	部数	備考
※ 工事記録写真	カラーサービズ判	各工程の工程毎	1部	
※ 完成写真	カラーサービズ判	○ 内部 箇所	2部	
		○ 外部 箇所	2部	
・ カラーキャビネ判	・ 内部 箇所	部		
	・ 外部 箇所	部		
・ パネル	カラー	・ 四切 箇所	2部	
		・ 半切 箇所		
		・ 全紙 箇所		

○ 電子データ又はネガの提出 [工事記録写真] () ● 要 ・ 不要
○ 電子データ又はネガの提出 [完成写真] () ● 要 ・ 不要

13. 完成時の提出書類 [1. 9. 1, 2]

下記のものに監督職員に提出する

- ※ 原因A 1版又はA 2版 (設計図の第2原因訂正不可) 1部
- ※ CADデータ 1式
- ※ 原因の大型コピー(白黒)の2つ折製本 2部
- ※ 縮小版2つ折製本(A4版) 2部
- ・ 複写 縮小版A3バラ焼部

完成図の種類及び内容(改修前後の状態が分かるように整備する)

- 案内図・配置図 : 配置図には外構整備、屋外排水系統図を含む
- 改修範囲図 : 改修概要、部位等を表示する
- 平面図 : 壁名、耐震壁(防火壁)、避難施設等を表示する
- 立面図 : 外壁仕上、補修範囲等を表示する
- 断面図 : 高さ、天井高等を表示する
- 仕上表 : 屋外、屋内(各階)の仕上表を表示する
- 構造図 : 杭、構造躯体等を表示する
- その他 : (※ 設計図に依る)
 - ・ 原因ケース・製本図面の背景紙に「施設コード・部局名称」ラベルを貼付ける

設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出し、監督職員の承認を受ける。

設備工事との取り合い	建築	電気	機械
・ コンクリート壁、床、梁変遷部	補強	※	-
	開口	-	※
・ 鉄骨造の開口及び補強	※	-	-
○ 照明器具・幹線等の吊りボルト	-	※	-
・ 軽量鉄骨製のボックス取付用下地	-	※	-
・ 埋込分電盤・端子盤・プルボックスの仮枠及び埋込部分の補強	補強	※	-
・ OAフロア・フリークセフロアの切込み及び補強	※	-	-
○ 埋込型機器取付用の天井	切込	※	※
壁の切込加工、下地の補強	補強	※	-
・ 自動閉鎖装置を取付ける防火戸及び補強及びアクロウゾ、フロアヒンジ	※	-	-
・ 電気室、自家発電室などの基礎及びビツト(溝を含む)	※	-	-
・ テレビアンテナ	基礎	※	-
	アンカーボルト	-	※
○ 天井点検口	※	-	-
・ 機器類のコンクリート基礎		※	※
	屋内・屋外設置	※	※
	屋上設備	※	-

コンクリート、モルタル等の撤去部分の項目は、原則としてダイヤモンドカッター切りとする。
ダイヤモンドカッター切り深さ(※30mm程度)

16. 撤去部分

17. 適用区分

18. 撤去部分

19. 適用区分

19. 仮設工事 [2. 2. 1]

① 騒音・粉じん等の対策 [2. 1. 3]

騒音・粉じん等の対策 ・ 防音パネル ○防音シート
防音パネル、防音シートを取り付ける足場の設置範囲
※ 工事に必要な範囲

② 足場その他 [2. 2. 1]
[表2. 2. 1]

「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の独立に関する基準」における2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用方式により行う。

外部足場 ○設置する(範囲 ※工事に必要な範囲) ・ ・ ・ ・ ・ 設置しない
防護シート ○設置する(範囲 ※工事に必要な範囲) ・ ・ ・ ・ ・ 設置しない
内部足場 ○設置する(※独立、足場板等) ・ ・ ・ ・ ・ 設置しない

材料、撤去材等の運搬方法 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ○ D種 ・ E種
C種: 利用可能なエレベーター ()
D種: 利用可能な階段 ()

③ 既存部分の養生 [2. 3. 1]

養生方法等
○ 既存部分の養生方法 ※ビニルシート、合板等による
・ ・ ・ ・ ・
・ 既存家具、既存設備等の養生方法 ※ビニルシートによる
・ ・ ・ ・ ・
・ 既存ブラインド、カーテン等の養生方法 ※ビニルシート等(取外し再取付を行う) ・ ・ ・ ・ ・
養生場所 ※構内既存施設内
・ ・ ・ ・ ・
・ 固定された家具等(鏡品、机、ロッカー等)の移動 ※行う(図示) ・ ・ ・ ・ ・
既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれがある場合は養生を行う。また、万一損傷を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。

4. 仮設間仕切り [2. 3. 2]

仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ※図示 ・ ・ ・
仮設間仕切りの種別と材質等
・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ 図示
A、B種の仕上材 ※石膏ボード (25-R 厚さ9.5mm) ・ 合板(普通合板 厚さ9mm)
A、B種の片面への塗装等 ・ 行う
A種のグラスウール等の充填材
※ 行う (JIS A 6301グラスウール吸音材2号32K 厚50mm)
・ 行わない
仮設扉の種別 ※木製(合板張り程度) ・ ・ ・

5. 監督職員事務所 [2. 4. 1]

※ 設ける m²程度 ○ 設けない
現場に設置する備品等は、現場説明書の施工条件明示事項による。
・ 既存建物内の一部を使用する(場所) ()
・ 構内に新設する 規模 (m²)

6. 表示板

※ 工事表示板

※ お願い表示板

工事現場の状況を示すための表示板の設置方法を示す図表。工事現場の状況を示すための表示板の設置方法を示す図表。

7. 工事用水

構内既存の施設 ※ 利用できない ・ 利用できる (※ 有償 ・ 無償)

8. 工事用電力

構内既存の施設 ※ 利用できない ・ 利用できる (※ 有償 ・ 無償)

9. 工事用仮設物

構内既存の施設 ○ 利用できない ・ 利用できる

10. 工事現場のイメージアップ

11. 降雨時に対する養生方法 [3. 1. 3]

※ 改修標準仕様書3.1.3(5)~(7)による。

12. 既存防水層の処理 [3. 1. 4]

既存防水層の撤去 ・ 行う(範囲 ・ 図示) ・ ・ ・ () ○ 行わない
既存防水層の撤去 ○ 行う(範囲 ○ 図示) ・ ・ ・ () ・ 行わない
露出防水層表面の仕上り塗装の除去
・ 行う (・ M4S ・ M4S1 ・ M4C ・ M4D1 ・ L4X)
○ 行わない
改修用ドレン
・ 設ける (・ POAS ・ POAS1 ・ POD ・ POD1 ・ POS ・ POS1 ・ POX)
○ 設けない

3 防水改修工事	3 既存下地の処理 [3. 2. 6] 既存下地の補修及び強度 補修箇所形状、長さ、数量等 ※ 図示 POS工法及びPSI工法（機械的固定工法）の既存保護層を除去し、防水層を非除去とした立上り部等の処理 ※改修標準仕様書3.2.6(4)(f)(g)①～③による ※改修標準仕様書3.2.6(4)(f)(g)②～③による 設備機器架台、配管突部、パラペット、貫通パイプ回り、手すり、丸掘りの取付け部、塔屋出入口部、防水層末端部の納まり部の処理 ※図示による。ただし、図示が無いものは監督職員と協議する。
4 アスファルト防水 [3. 3. 2～5] [表 3. 3. 3～10]	屋根保護防水 防水層の種類 [表 3. 3. 3～10]
	改質アスファルト防水 防水層の種類 [表 3. 3. 3～10]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]
	改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2. 3] [表 3. 4. 1～3]



① せっこうボードその他の ボード及び合板張り [6. 1.3. 2. 3]	種類		JIS記号	厚さ(mm)、規格等
	・ 硬質木セメント板	G	HW	・ 15 ・ 20 ・ 25
	・ 中質木セメント板	G	NW	・ 15 ・ 20 ・ 25
	・ 普通木セメント板	G	NW	・ 15 ・ 20 ・ 25
	○ 硬質木片セメント板	G	HF	・ 12 ・ 15 ○ 18 ・ 21
	・ 普通木片セメント板	G	NF	・ 30
	・ けい酸カルシウム板		0.8FK 1.0FK	タイプ 2 (無石綿) ・ 6 ・ 8
	・ ロックウール化粧吸音板	DR		・ フラットタイプ (・ 9 ・ 12 ・) ・ 不燃 ・ 凹凸タイプ (・ 12 ・ 15 ・ 19 ・) ・ 不燃
	・ ロックウール吸音ボード1号	DR-B		・ 25
	・ グラスウール吸音ボード32K	DR-B		・ 25 (ガラスクロス包)
	○ せっこうボード	DR-N		※12.5 (不燃) ・ 15 (不燃)
・ 不燃積層せっこうボード	DR-NC		9.5 (不燃) 化粧無 (下地張り用) 化粧有 (トラバーチン模様)	
・ シーシングせっこうボード	DR-S		12.5 (・ 不燃 ・ 準不燃)	
・ 強化せっこうボード	DR-F		12.5 (不燃) ・ 15 (不燃)	
・ せっこうラスボード	DR-L		9.5	
・ 化粧せっこうボード (木目)	DR-D		12.5 (不燃) 幅 440mm 程度 模様 (・ 楕円 ・ 板目) 専用下地材有り	
・ 化粧せっこうボード (トラバーチン模様)	DR-D		9.5 (準不燃)	
・ 普通合板	G		表板の種類 生地、透明塗料塗り (※ラワン程度)) 不透明塗料塗り (※シナ程度)) 板面の品質 () 厚さ(mm) () 接着の程度 ・1類 ・2類 ・ 防虫処理	
・ 天然化粧合板	G		機種名 () 接着の程度 ・1類 ・2類 厚さ(mm) () ・ 防虫処理 ・ 難燃処理 ・ 防火処理	
・ 特殊加工化粧合板	G		化粧加工の方法 (・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装) 表面性能 () タイプ 接着の程度 ・1類 ・2類 厚さ(mm) () ・ 防虫処理	
・ メラミン樹脂化粧板			JIS K 6903 による (※ 1.2)	
・ ポリエステル樹脂化粧板				
・ ミディアムテンシティファイバーボード	G	MF	・ 3 ・ 7 ・ 9 ・ 12	
・ 単板張りパーティクルボード	G		・ 無研磨板 VN ・ 研磨板 VS ・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18	
・ 化粧パーティクルボード	G		・ 単板オーバーレイ DV ・ プラスチックオーバーレイ DO ・ 塗装 DC ・ 10 (難燃) ・ 12 (難燃)	
・ ハードボード (実地)	G	H6	・ 未研磨板 (・ スタンダード ・ テンパード RN) ・ 研磨板 (・ スタンダード ・ テンパード RS)	
・ ハードボード (化粧)	G		・ 内装用 DI ・ 外装用 DE ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7	
・ インシュレーションボード	G	IB	繊維 (・ 天井仕上 ・ 内装仕上) ・ 9 ・ 12 ・ 15 ・ 18	
天井のボード類 (ロックウール化粧板を除く) の重ね張りを行う場合	※図示による			
合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量	※規制対象外			
合板類の張り付け	・ A種 ・ B種			
せっこうボードの目地工法	※仕上表による			
ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外	・			
施工箇所	壁紙の種類	防火性能	備考	
	紙 繊維 7.5寸 厚切	無難質 その他		
	・	・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃		
モルタル・せっこうプaster面の素地ごしらの種類 ※B種	・			
コンクリート面の素地ごしらの種類 ※B種	・			
せっこうボード及びその他ボード面の素地ごしらの種類 ※B種	・			

⑦ 塗装 改修工事	① 材料	② 下地調整	③ 錆止め塗料塗り	④ 仕上塗り塗料塗り
	[7. 1. 3]	[7. 2. 1~7]	[7. 4. 2. 3]	[7. 5. 2~7. 12. 2]

室内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量																																																																																																																																														
※F☆☆☆☆																																																																																																																																														
防火材料																																																																																																																																														
※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする																																																																																																																																														
・ 次の箇所を除き防火材料とする ()																																																																																																																																														
塗替え種別がR日種の場合の既存塗膜の除去範囲																																																																																																																																														
※劣化部分は除去し、活膜部分は残す																																																																																																																																														
下地調整、素地ごしらせ																																																																																																																																														
<table border="1"> <tr> <th>下地調整の種類</th> <th>塗替え</th> <th>新規</th> <th>ひび割れ部の補修</th> </tr> <tr> <td>木部</td> <td>※R日種</td> <td>・ A種 ・ B種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>※R日種</td> <td>・ C種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面 (DP)</td> <td>※R日種</td> <td>・ B種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>垂れつき面</td> <td>※R日種</td> <td>・ A種 ・ B種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>モルタル面、せっこうプaster面</td> <td>※R日種</td> <td>・ A種 ・ B種</td> <td>・ 行う</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面、A1シートの内面 (DP以外)</td> <td>※R日種</td> <td>・ B種</td> <td>・ 行う</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面、押出成形セメント板 (DP)</td> <td>※R日種 ・ RC種</td> <td>・ A種 ・ B種</td> <td>・ 行う</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード面、その他ボード面</td> <td>※R日種</td> <td>・ A種 ・ B種</td> <td>—</td> </tr> </table>				下地調整の種類	塗替え	新規	ひび割れ部の補修	木部	※R日種	・ A種 ・ B種	—	鉄鋼面	※R日種	・ C種	—	鉄鋼面 (DP)	※R日種	・ B種	—	垂れつき面	※R日種	・ A種 ・ B種	—	モルタル面、せっこうプaster面	※R日種	・ A種 ・ B種	・ 行う	コンクリート面、A1シートの内面 (DP以外)	※R日種	・ B種	・ 行う	コンクリート面、押出成形セメント板 (DP)	※R日種 ・ RC種	・ A種 ・ B種	・ 行う	せっこうボード面、その他ボード面	※R日種	・ A種 ・ B種	—																																																																																																							
下地調整の種類	塗替え	新規	ひび割れ部の補修																																																																																																																																											
木部	※R日種	・ A種 ・ B種	—																																																																																																																																											
鉄鋼面	※R日種	・ C種	—																																																																																																																																											
鉄鋼面 (DP)	※R日種	・ B種	—																																																																																																																																											
垂れつき面	※R日種	・ A種 ・ B種	—																																																																																																																																											
モルタル面、せっこうプaster面	※R日種	・ A種 ・ B種	・ 行う																																																																																																																																											
コンクリート面、A1シートの内面 (DP以外)	※R日種	・ B種	・ 行う																																																																																																																																											
コンクリート面、押出成形セメント板 (DP)	※R日種 ・ RC種	・ A種 ・ B種	・ 行う																																																																																																																																											
せっこうボード面、その他ボード面	※R日種	・ A種 ・ B種	—																																																																																																																																											
錆止め塗料塗りの種類																																																																																																																																														
<table border="1"> <tr> <th>鉄鋼面</th> <th>塗装面</th> <th>塗料の種類</th> <th>工程の種類</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">SOP</td> <td>新規見え塗り</td> <td></td> <td>・ A種 ・</td> </tr> <tr> <td>新規見え隠れ</td> <td></td> <td>・ B種 ・</td> </tr> <tr> <td>塗替え</td> <td></td> <td>・ C種 ・</td> </tr> <tr> <td>塗替え</td> <td>・ A種 ※B種</td> <td>・ A種 ・</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">E-P-G</td> <td>新規見え塗り</td> <td></td> <td>・ B種 ・</td> </tr> <tr> <td>新規見え隠れ</td> <td></td> <td>・ C種 ・</td> </tr> <tr> <td>塗替え</td> <td></td> <td>・ C種 ・</td> </tr> <tr> <td>塗替え</td> <td></td> <td>・ C種 ・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">DP</td> <td>新規</td> <td></td> <td>・ A種 ・</td> </tr> <tr> <td>新規</td> <td></td> <td>・ A種 ・</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">垂れつき面</td> <td>SOP</td> <td>新規鋼製建具等</td> <td>・ A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>新規その他</td> <td>・ B種 ・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>塗替え</td> <td>・ C種 ・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>塗替え</td> <td>・ C種 ・</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">E-P-G</td> <td>新規鋼製建具等</td> <td></td> <td>・ A種 ・</td> </tr> <tr> <td>新規その他</td> <td></td> <td>・ B種 ・</td> </tr> <tr> <td>塗替え</td> <td></td> <td>・ C種 ・</td> </tr> <tr> <td>塗替え</td> <td></td> <td>・ C種 ・</td> </tr> </table>				鉄鋼面	塗装面	塗料の種類	工程の種類	SOP	新規見え塗り		・ A種 ・	新規見え隠れ		・ B種 ・	塗替え		・ C種 ・	塗替え	・ A種 ※B種	・ A種 ・	E-P-G	新規見え塗り		・ B種 ・	新規見え隠れ		・ C種 ・	塗替え		・ C種 ・	塗替え		・ C種 ・	DP	新規		・ A種 ・	新規		・ A種 ・	垂れつき面	SOP	新規鋼製建具等	・ A種 ※B種		新規その他	・ B種 ・		塗替え	・ C種 ・		塗替え	・ C種 ・	E-P-G	新規鋼製建具等		・ A種 ・	新規その他		・ B種 ・	塗替え		・ C種 ・	塗替え		・ C種 ・																																																																												
鉄鋼面	塗装面	塗料の種類	工程の種類																																																																																																																																											
SOP	新規見え塗り		・ A種 ・																																																																																																																																											
	新規見え隠れ		・ B種 ・																																																																																																																																											
	塗替え		・ C種 ・																																																																																																																																											
	塗替え	・ A種 ※B種	・ A種 ・																																																																																																																																											
E-P-G	新規見え塗り		・ B種 ・																																																																																																																																											
	新規見え隠れ		・ C種 ・																																																																																																																																											
	塗替え		・ C種 ・																																																																																																																																											
	塗替え		・ C種 ・																																																																																																																																											
DP	新規		・ A種 ・																																																																																																																																											
	新規		・ A種 ・																																																																																																																																											
垂れつき面	SOP	新規鋼製建具等	・ A種 ※B種																																																																																																																																											
		新規その他	・ B種 ・																																																																																																																																											
		塗替え	・ C種 ・																																																																																																																																											
		塗替え	・ C種 ・																																																																																																																																											
E-P-G	新規鋼製建具等		・ A種 ・																																																																																																																																											
	新規その他		・ B種 ・																																																																																																																																											
	塗替え		・ C種 ・																																																																																																																																											
	塗替え		・ C種 ・																																																																																																																																											
塗装の種類																																																																																																																																														
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">塗装の種類</th> <th rowspan="2">塗装面</th> <th colspan="2">工程</th> </tr> <tr> <th>塗替え</th> <th>新規</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">・ 合成樹脂塗料ペイント塗り (SOP)</td> <td>屋外木部</td> <td>※B種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td>屋内木部</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">塗料の種類 ※1種 ・2種</td> <td>垂れつき面 (鋼製建具以外)</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>垂れつき面 (鋼製建具)</td> <td>※A種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>・ クリアラッカー塗り (CL)</td> <td>木部</td> <td>・ A種 ※B種</td> <td>・ A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td>・ アクリル樹脂系分散塗料塗り (NAD)</td> <td>屋内の凸凹面 ・ モルタル面</td> <td>・ A種 ※B種</td> <td>・ A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td>・ 耐候性塗料塗り (DP) 上塗り等級</td> <td>コンクリート面</td> <td>・ A-1種</td> <td>・ A-1種</td> </tr> <tr> <td>・ 1級</td> <td>及び押出成形セメント板面</td> <td>・ B-1種</td> <td>・ B-1種</td> </tr> <tr> <td>・ 2級</td> <td></td> <td>・ C-1種</td> <td>・ C-1種</td> </tr> <tr> <td>・ 3級</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ つや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗り (E-P-G)</td> <td>屋内木部</td> <td>※B種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>屋内鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>屋内垂れつき面</td> <td>※A種</td> <td>※A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>コンクリート面</td> <td>※B種</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>モルタル面</td> <td>※B種</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>せっこうプaster面</td> <td>※B種</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>せっこうボード面</td> <td>※B種</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>○合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)</td> <td></td> <td>※B種</td> <td>・ A種 ○B種</td> </tr> <tr> <td>・ ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)</td> <td></td> <td>・ A種 ※B種</td> <td>・ A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td>・ スティン塗り</td> <td></td> <td>・ ヒグメントスティン塗り ・ オイルスティン塗り (OS)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 木材保護塗料塗り (WP)</td> <td></td> <td>・ A種 ※B種</td> <td>・ A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td>つや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗り (コンクリート面、モルタル面、プaster面、せっこうボード面、その他ボード面) の塗替えのしきり</td> <td colspan="3">※改修標準仕様書表7.9.1の工程1の下塗りしきり線とする</td> </tr> <tr> <td>合成樹脂エマルジョンペイント塗りの塗替えの場合のしきり</td> <td colspan="3">※改修標準仕様書表7.10.1の工程1の下塗りしきり線とする</td> </tr> <tr> <td>高日射反射塗料塗り</td> <td colspan="3">G</td> </tr> <tr> <td>下地調整 (改修標準仕様書表7.2.2)</td> <td colspan="3">・ R日種 ※R日種 ・ RC種</td> </tr> <tr> <td>工程</td> <td>塗料の種類</td> <td>規格番号</td> <td>規格名称</td> </tr> <tr> <td>塗料塗り</td> <td>JIS K 5675</td> <td>屋根用高日射反射率塗料</td> <td>2種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>等級</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 1級 ・ 2級 ・ 3級</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>塗料製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>クリアラッカー塗りA種の工程2着色</td> <td colspan="3">・ 適用しない ・ 適用する (着色剤 ・ 溶剤系着色剤 ・ 油性染料着色剤)</td> </tr> <tr> <td>ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色</td> <td colspan="3">・ 適用しない ・ 適用する (着色剤 ・ 溶剤系着色剤 ・ 油性染料着色剤)</td> </tr> <tr> <td>オイルスティン塗りの工程等</td> <td colspan="3">・</td> </tr> </table>				塗装の種類	塗装面	工程		塗替え	新規	・ 合成樹脂塗料ペイント塗り (SOP)	屋外木部	※B種	※A種	屋内木部	※B種	※B種	鉄鋼面	※B種	※A種 ※B種	塗料の種類 ※1種 ・2種	垂れつき面 (鋼製建具以外)	※B種	※B種	垂れつき面 (鋼製建具)	※A種	※B種	・ クリアラッカー塗り (CL)	木部	・ A種 ※B種	・ A種 ※B種	・ アクリル樹脂系分散塗料塗り (NAD)	屋内の凸凹面 ・ モルタル面	・ A種 ※B種	・ A種 ※B種	・ 耐候性塗料塗り (DP) 上塗り等級	コンクリート面	・ A-1種	・ A-1種	・ 1級	及び押出成形セメント板面	・ B-1種	・ B-1種	・ 2級		・ C-1種	・ C-1種	・ 3級				・ つや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗り (E-P-G)	屋内木部	※B種	※A種		屋内鉄鋼面	※B種	・ A種 ・ B種		屋内垂れつき面	※A種	※A種 ・ B種		コンクリート面	※B種	・ A種 ・ B種		モルタル面	※B種	・ A種 ・ B種		せっこうプaster面	※B種	・ A種 ・ B種		せっこうボード面	※B種	・ A種 ・ B種	○合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)		※B種	・ A種 ○B種	・ ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)		・ A種 ※B種	・ A種 ※B種	・ スティン塗り		・ ヒグメントスティン塗り ・ オイルスティン塗り (OS)		・ 木材保護塗料塗り (WP)		・ A種 ※B種	・ A種 ※B種	つや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗り (コンクリート面、モルタル面、プaster面、せっこうボード面、その他ボード面) の塗替えのしきり	※改修標準仕様書表7.9.1の工程1の下塗りしきり線とする			合成樹脂エマルジョンペイント塗りの塗替えの場合のしきり	※改修標準仕様書表7.10.1の工程1の下塗りしきり線とする			高日射反射塗料塗り	G			下地調整 (改修標準仕様書表7.2.2)	・ R日種 ※R日種 ・ RC種			工程	塗料の種類	規格番号	規格名称	塗料塗り	JIS K 5675	屋根用高日射反射率塗料	2種				等級				・ 1級 ・ 2級 ・ 3級				塗料製造所の仕様による	クリアラッカー塗りA種の工程2着色	・ 適用しない ・ 適用する (着色剤 ・ 溶剤系着色剤 ・ 油性染料着色剤)			ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色	・ 適用しない ・ 適用する (着色剤 ・ 溶剤系着色剤 ・ 油性染料着色剤)			オイルスティン塗りの工程等	・		
塗装の種類	塗装面	工程																																																																																																																																												
		塗替え	新規																																																																																																																																											
・ 合成樹脂塗料ペイント塗り (SOP)	屋外木部	※B種	※A種																																																																																																																																											
	屋内木部	※B種	※B種																																																																																																																																											
	鉄鋼面	※B種	※A種 ※B種																																																																																																																																											
塗料の種類 ※1種 ・2種	垂れつき面 (鋼製建具以外)	※B種	※B種																																																																																																																																											
	垂れつき面 (鋼製建具)	※A種	※B種																																																																																																																																											
・ クリアラッカー塗り (CL)	木部	・ A種 ※B種	・ A種 ※B種																																																																																																																																											
・ アクリル樹脂系分散塗料塗り (NAD)	屋内の凸凹面 ・ モルタル面	・ A種 ※B種	・ A種 ※B種																																																																																																																																											
・ 耐候性塗料塗り (DP) 上塗り等級	コンクリート面	・ A-1種	・ A-1種																																																																																																																																											
・ 1級	及び押出成形セメント板面	・ B-1種	・ B-1種																																																																																																																																											
・ 2級		・ C-1種	・ C-1種																																																																																																																																											
・ 3級																																																																																																																																														
・ つや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗り (E-P-G)	屋内木部	※B種	※A種																																																																																																																																											
	屋内鉄鋼面	※B種	・ A種 ・ B種																																																																																																																																											
	屋内垂れつき面	※A種	※A種 ・ B種																																																																																																																																											
	コンクリート面	※B種	・ A種 ・ B種																																																																																																																																											
	モルタル面	※B種	・ A種 ・ B種																																																																																																																																											
	せっこうプaster面	※B種	・ A種 ・ B種																																																																																																																																											
	せっこうボード面	※B種	・ A種 ・ B種																																																																																																																																											
○合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)		※B種	・ A種 ○B種																																																																																																																																											
・ ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)		・ A種 ※B種	・ A種 ※B種																																																																																																																																											
・ スティン塗り		・ ヒグメントスティン塗り ・ オイルスティン塗り (OS)																																																																																																																																												
・ 木材保護塗料塗り (WP)		・ A種 ※B種	・ A種 ※B種																																																																																																																																											
つや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗り (コンクリート面、モルタル面、プaster面、せっこうボード面、その他ボード面) の塗替えのしきり	※改修標準仕様書表7.9.1の工程1の下塗りしきり線とする																																																																																																																																													
合成樹脂エマルジョンペイント塗りの塗替えの場合のしきり	※改修標準仕様書表7.10.1の工程1の下塗りしきり線とする																																																																																																																																													
高日射反射塗料塗り	G																																																																																																																																													
下地調整 (改修標準仕様書表7.2.2)	・ R日種 ※R日種 ・ RC種																																																																																																																																													
工程	塗料の種類	規格番号	規格名称																																																																																																																																											
塗料塗り	JIS K 5675	屋根用高日射反射率塗料	2種																																																																																																																																											
			等級																																																																																																																																											
			・ 1級 ・ 2級 ・ 3級																																																																																																																																											
			塗料製造所の仕様による																																																																																																																																											
クリアラッカー塗りA種の工程2着色	・ 適用しない ・ 適用する (着色剤 ・ 溶剤系着色剤 ・ 油性染料着色剤)																																																																																																																																													
ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色	・ 適用しない ・ 適用する (着色剤 ・ 溶剤系着色剤 ・ 油性染料着色剤)																																																																																																																																													
オイルスティン塗りの工程等	・																																																																																																																																													

⑩ その他	⑦ 点検口	○天井点検口	材料		寸法 (mm)	形式	外枠	内枠	
		○アルミニウム製	○M60×460	○一般形	・ 屋内外用	○隠蔽タイプ	○隠蔽タイプ		
			・ 600×600	○密閉形	・ 屋内用	・ 目地タイプ	・ 目地タイプ		
				・ 気密形					
			(品質・性能)						
			室内枠の材質 アルミニウム製						
			JIS H 4100 A6063S又は同等の性能を有するもの						
			表面処理 陽極酸化皮膜JIS H 8601 (AA6) 又は同等の性能を有するもの						
			(外部に用いる場合は、JIS H 8602のB種又は同等以上の性能を有するもの)						
			内枠及び外枠のコーナースペース						
			鋼板に垂れつき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するもの						
			外枠の取り付け金物						
			鋼板に垂れつき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するもの						
			内枠の仕上げ材留付金物						
			アルミニウム及びアルミニウム合金押出材、垂れつき鋼板又は同等の性能を有するもの						
			耐久性能 (繰り返し閉開試験)						
			(1) 50回、100回、300回の内重の垂れ下りが、0.5mm以内。						
			(2) 閉開試験後、使用上支障をきたす異常がないこと。						
			枠の寸法許容差 ±0.5mm以内						
			外枠と内枠のクリアランス 片側2.0mm以内						
			(試験方法)						
			内重 (内枠) の繰り直し閉開試験						
			(1) 試験体は、枠見込み40mm程度のものとする。						
			吊り金物は、外枠を天井地下取付用チャンネルに直接留付ける方式 (天井ボordなどの仕上材を挟んで固定しない方式) とする。標準仕様書14章4節により製作した試験体固定用天井地下開口構造に試験体の天井点検口450mm×450mmを吊り金具4箇所にて各メーカー仕様に従って取付ける。なお、野縁の種類は、19形と仕上げ材は、せっこうボード厚さ9.5mm (JIS A 6901「せっこうボード製品」の6B-Rの難燃2級又は発熱性2級以上) 二重張りとする。						
			(2) 試験は、内重を閉じた状態から自由開放状態にする動作を繰り直し行う。						
			(3) 測定は、上記繰り直し試験において、各50回、100回、300回毎に内重の垂れ下り状態を測定する。						
			・床点検口						
			材料	寸法 (mm)	形式	備考			
			・アルミニウム製	・460×460	・一般形	・屋内外用	・隠付き		
			・ステンレス製	・600×600	・密閉形	・屋内用			
			・鋼製						
			密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとする。						
			(品質・性能)						
			以下のもの又は同等のものとする						
			部材名	材質	屋内外用	屋内用			
			表枠材 表枠材	アルミニウム及びアルミニウム合金押出材	JIS H 4100のA6063S-T (表面処理) JIS H 8602のB種又はJIS H 8601のAA15	JIS G 4305のSUS430			
			ステンレス鋼製	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度	鋼製又はJIS G 3313の種にメラミン樹脂接着剤を施す場合は、鉛酸カルシウム及び止めペイント (JIS K 5629) の防錆処理を行ったもの			
			鋼製	—	—	鋼製又はJIS G 3313の種にメラミン樹脂接着剤を施す場合は、鉛酸カルシウム及び止めペイント (JIS K 5629) の防錆処理を行ったもの			
			二重蓋の中蓋	鋼製	JIS G 5501のFC150、FC200				
			目地材	黄銅	JIS H 3100 C2600、C2720、C2801				
				JIS H 3250 C3602、C3604					
			ステンレス	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L又はSUS443J1					
				JIS G 4308のSUS304					
			表枠材 コーナースペース 底板補強材	ステンレス鋼板	JIS G 4305のSUS304、SUS430	JIS G 4305 SUS430			
				J1L、SUS443J1					
				アルミニウム板	JIS H 4000 (AT100P H24)	—			
					表面処理：陽極酸化皮膜被覆				
					合被覆 JIS H 8601 (AA15)				
					JIS H 8602 (B)				
			鋼材	—	—	鋼製又はJIS G 3313の種にメラミン樹脂接着剤を施す場合は、鉛酸カルシウム及び止めペイント (JIS K 5629) の防錆処理を行ったもの			
			パッキン材	強化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロブレン、スポンジラバー、エチレンプロピレン等	種別の材質、形状に適した弾力性、密着性、気密性を有するもの				
			アンカー材	鋼製に電気亜鉛めっき又は防錆塗料を行ったもの					
			取手	黄銅鋼製、黄銅製、アルミニウム押出材等	鋼製、ステンレス鋼、ステンレス等				
				鋼製鋼材、アルミニウム押出材などで被覆した、合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする					
			鍵	黄銅製、ステンレス製、亜鉛合金製とする					
				錠錠・開錠は、錠又は閉開用ハンドル式とする					
			鍵の耐荷重性能	鍵中央部が荷重P=1,000Nにおいて残留たわみが点検口の有効径の0.08%以内であること。					
				受け枠、蓋その他の使用上支障がないこと。					
				耐荷重は、荷重値のPの2倍以上であること					
			受け枠寸法の許容差 ±0.5mm以下						
			蓋寸法の許容差 ±0.5mm以下						
			受け枠と蓋枠のクリアランス 片側2.0mm以内						
			(試験方法)						
			耐荷重試験						
			試験体は、強物用とし、600mm角程度、枠見込みは、40mm以下とする。						
			試験は、蓋枠の四角を支持させ、蓋の中央部にφ50mmの加圧板を設置し、加圧する。						
			本試験前に200Nを加圧した後、本試験を行う。						
			本試験は、1,000Nを加圧、荷重除去を3回繰り直し行った後、その後試験体が破壊する (終局荷重) まで加圧する。						
			測定は、蓋中央部にかかる加圧を200N増す毎にたわみと受け枠の変形その他の異常について1,000Nまで3回繰り返す。						

鳥取県
令和5年度
J2301444
東部建築住宅
事務所

■ 工事概要 ■

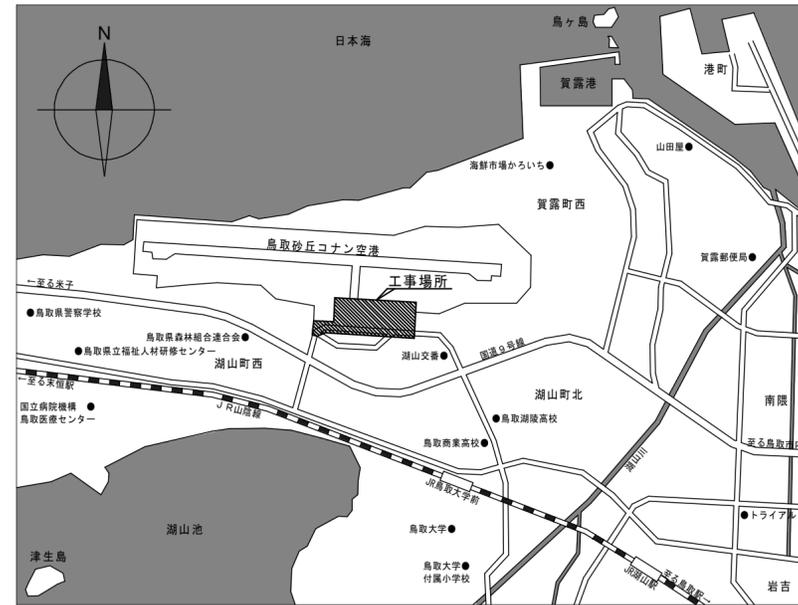
【国際線ターミナルビル】

1. 南側・北側 カーテンウォール上部
 - ・幕板カバーパネルを撤去し、アルミ幕板を新設する。
2. 出発ロビー上部
 - ・トップライトのシーリングの打替えを行う。
3. 電気室上部
 - ・マシンハッチ周りの屋根カバーの改修を行う。
4. センタープラザ上部
 - ・屋根にウレタン系塗膜防水を行う。
 - ・下部天井を改修し、漏水受けパンを新設する。
 - ・天井改修に伴う電気設備の仮撤去、再取付、移設を行う。
5. 風除室
 - ・トップライトのシーリングの打替えを行う。
 - ・天井の合わせガラスを撤去し、アルミルーバーを新設する。
6. 折板屋根の軒先化粧フレームを全て撤去する。

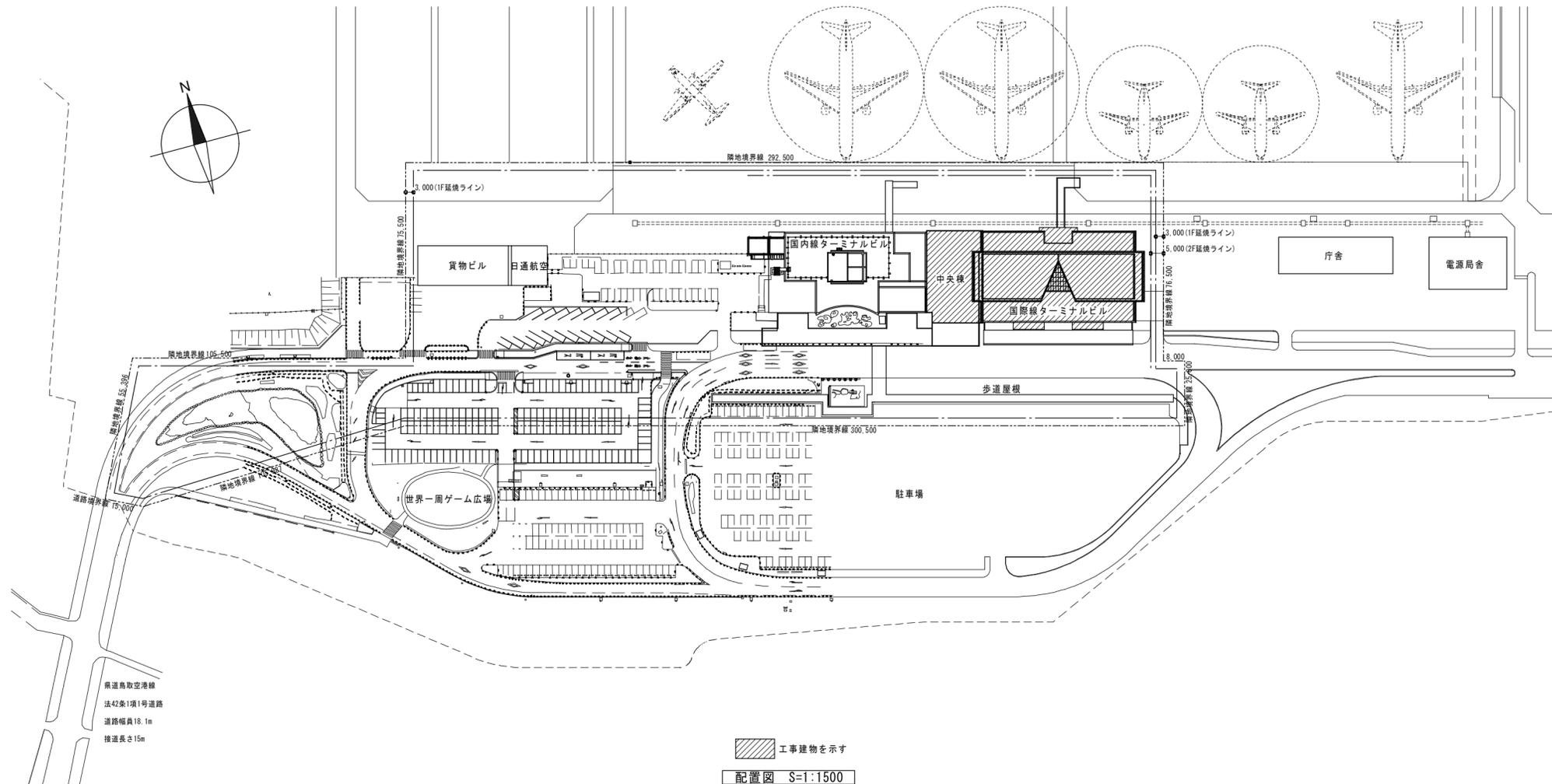
【中央棟・国内線ターミナルビル】

7. 中央棟・国内線ターミナル棟接続部分
 - ・E X P. J カバーの改修 及びそれに伴う外壁、防水改修を行う。

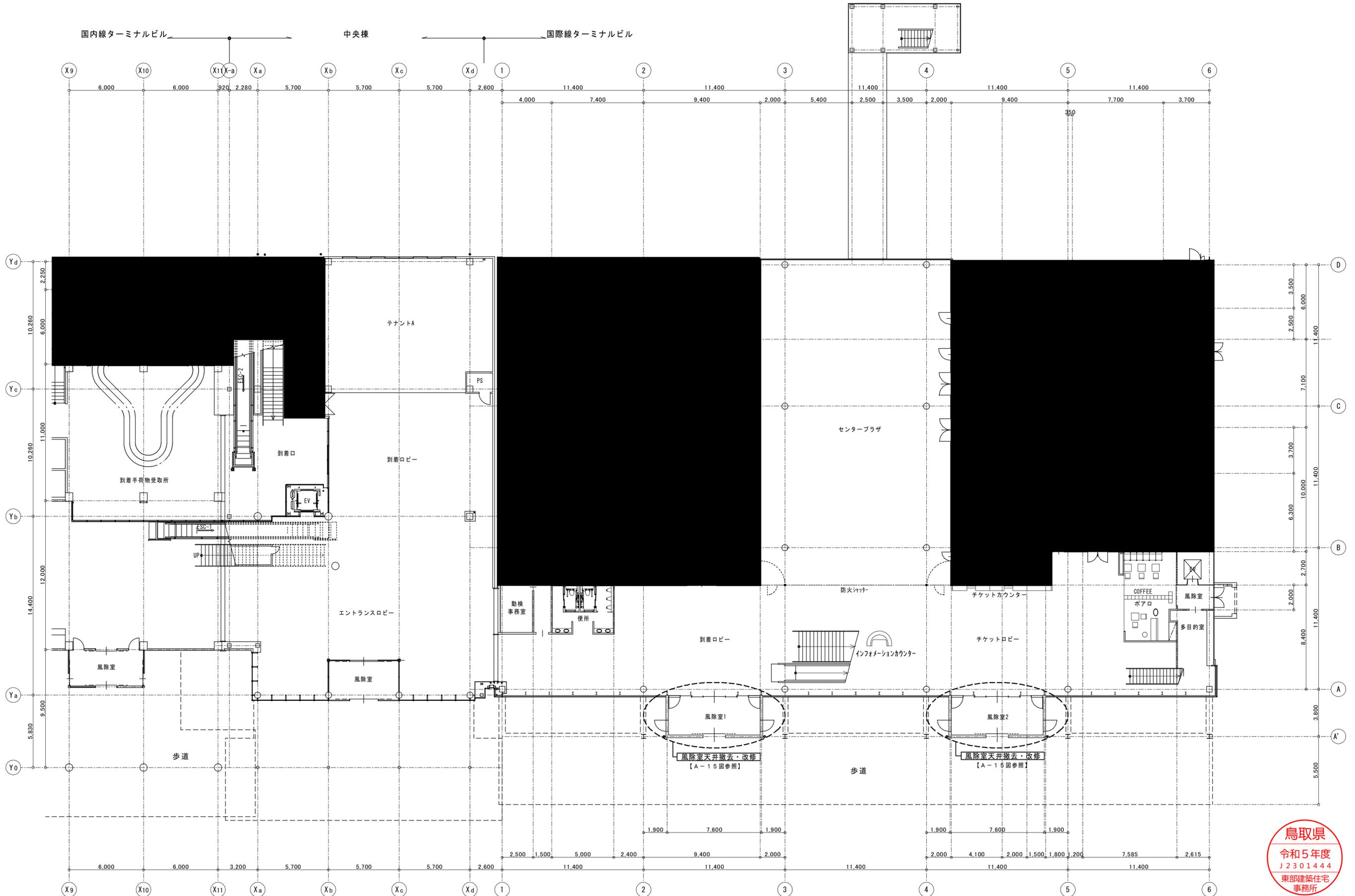
- 上記工事に係る外部足場及び内部足場の設置を行う。(養生シート共)
- 上記工事に係る工事部分及び搬入路の養生を行う。
- 上記工事に係る発生材の運搬・処分を行う。



付近見取図



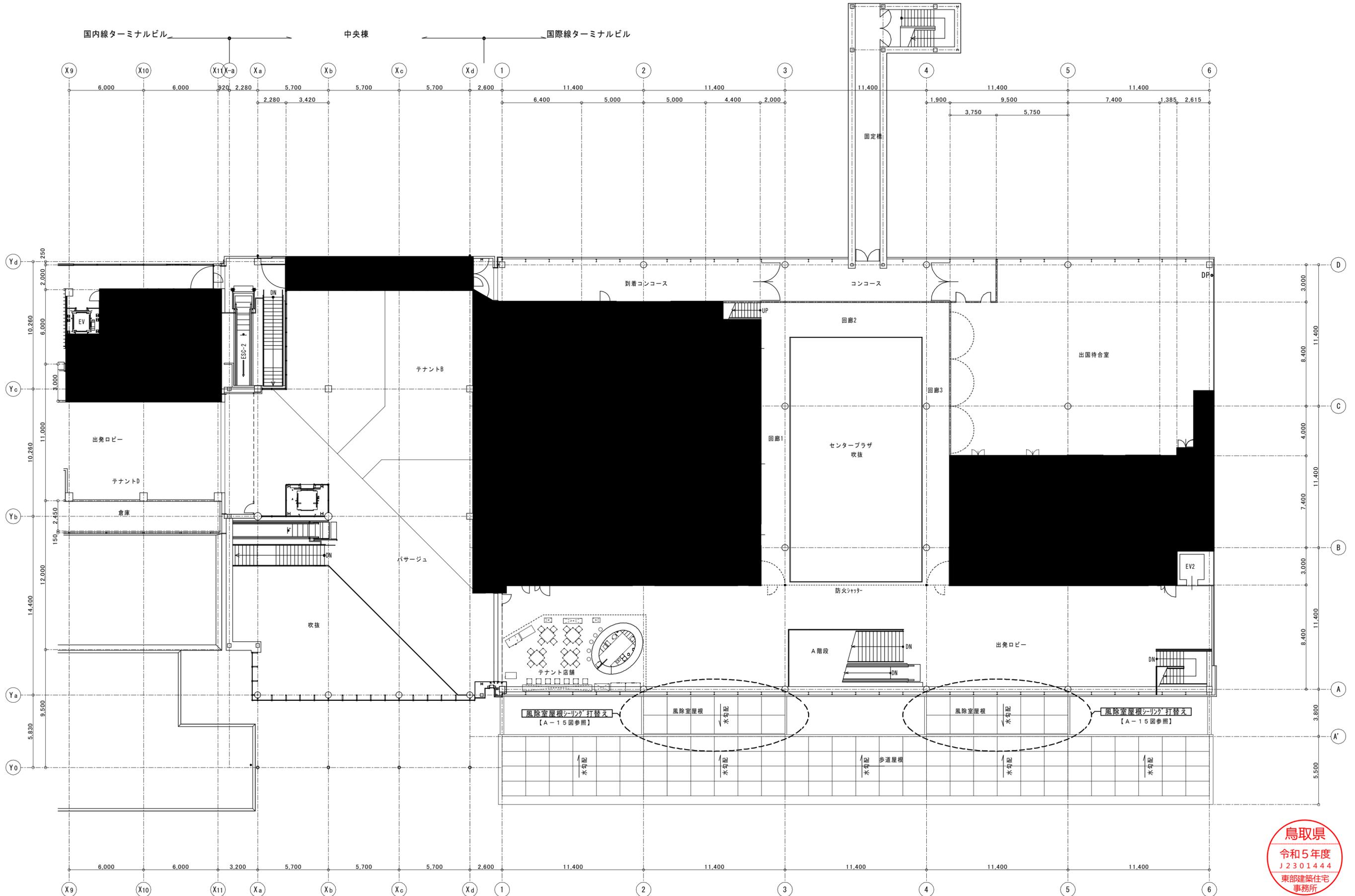
有限会社 保木本設計	一級建築士事務所 鳥取県知事登録第883号	一級建築士登録 第139287号 管理建築士 保木本 啓一	CHECK 	DESIGN 	DRAW 	PROJECT NO	TITLE 鳥取砂丘コナシ空港国際線ターミナル屋根等改修工事	DRAWING NAME 付近見取図・配置図・工事概要	SCALE 1:1500	NO A-05



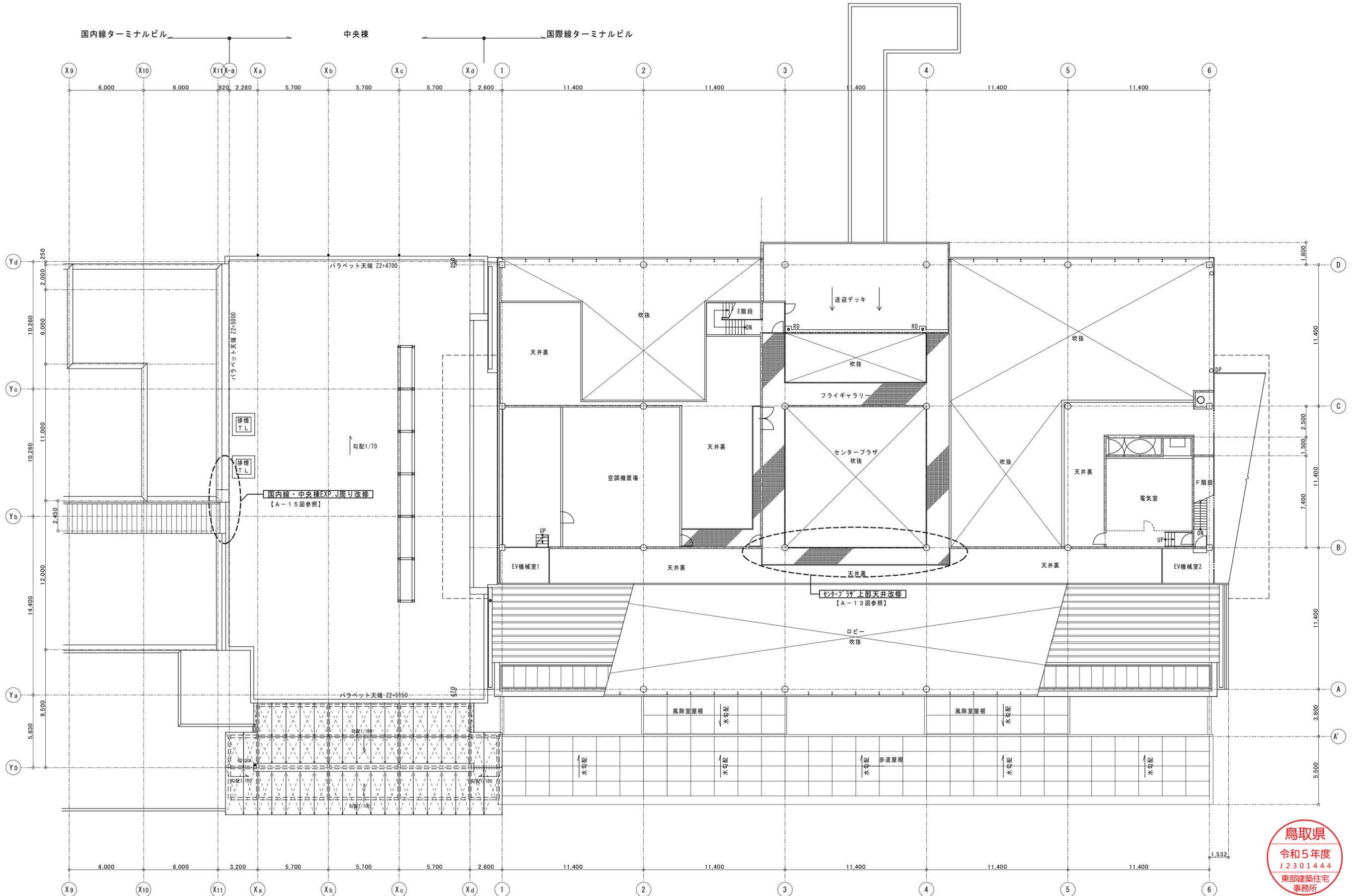
1階平面図 S=1:200



 有限会社 保木本設計	一級建築士事務所 鳥取県知事登録第883号	一級建築士登録 第139287号 管理建築士 保木本 啓一	CHECK 	DESIGN 	DRAW 	PROJECT NO 	TITLE 鳥取砂丘コナン空港国際線ターミナル屋根等改修工事	DRAWING NAME 1階平面図 (国際線ターミナル、中央棟)	SCALE 1:200	NO A-06
	1階平面図 (国際線ターミナル、中央棟)									



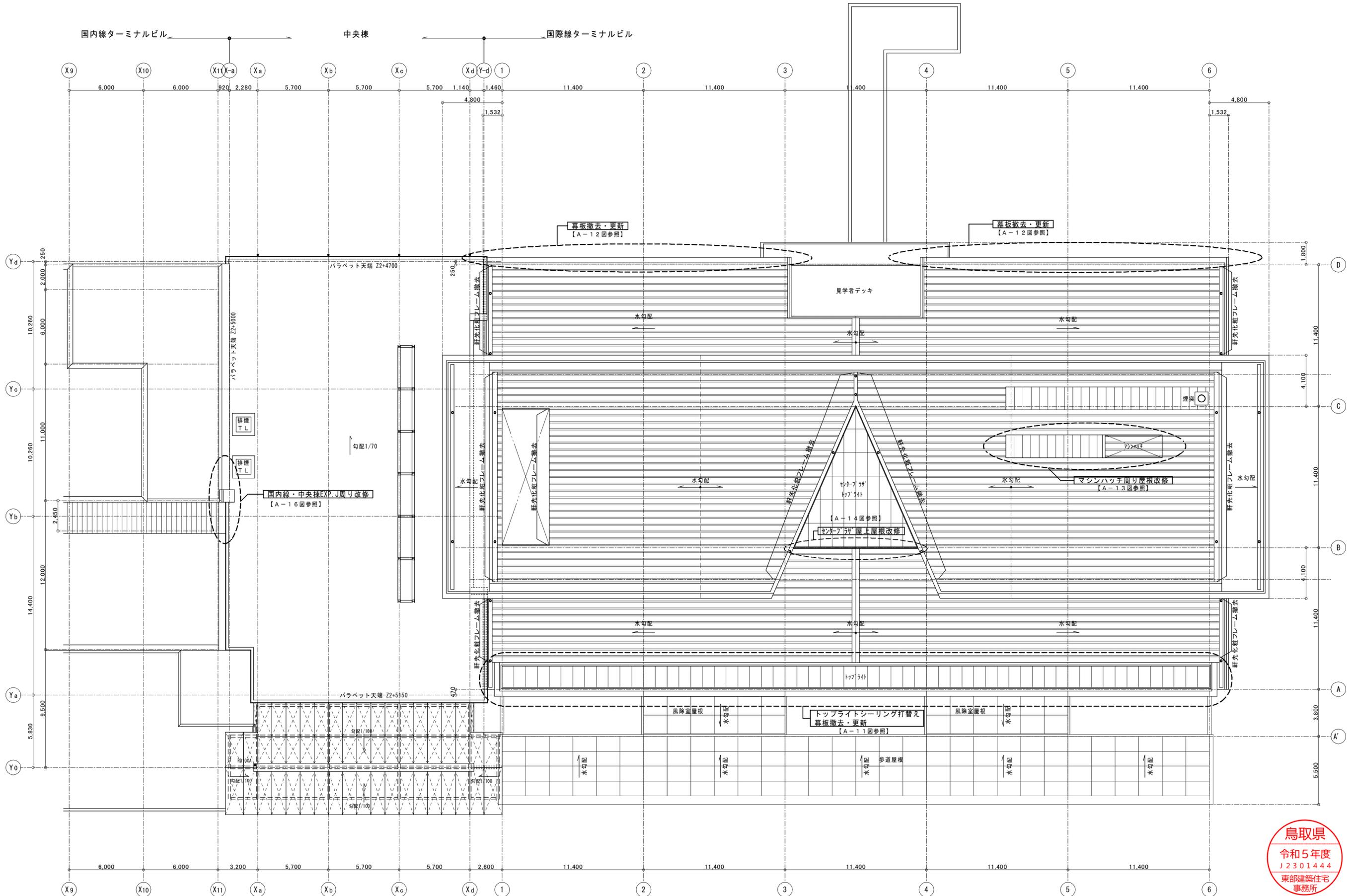
	有限会社 保木本設計 <small>一級建築士事務所 鳥取県知事登録第883号</small>	<small>一級建築士登録 第139287号 管理建築士 保木本 啓一</small>	<small>CHECK DESIGN DRAW</small> 	<small>PROJECT NO</small> 鳥取砂丘コナン空港国際線ターミナル屋根等改修工事	<small>TITLE</small> 鳥取砂丘コナン空港国際線ターミナル屋根等改修工事	<small>DRAWING NAME</small> 2階平面図 (国際線ターミナル、中央棟)	<small>SCALE</small> 1:200	<small>NO</small> A-07
	<small>鳥取県 令和5年度 J2301444 東部建築住宅事務所</small>							



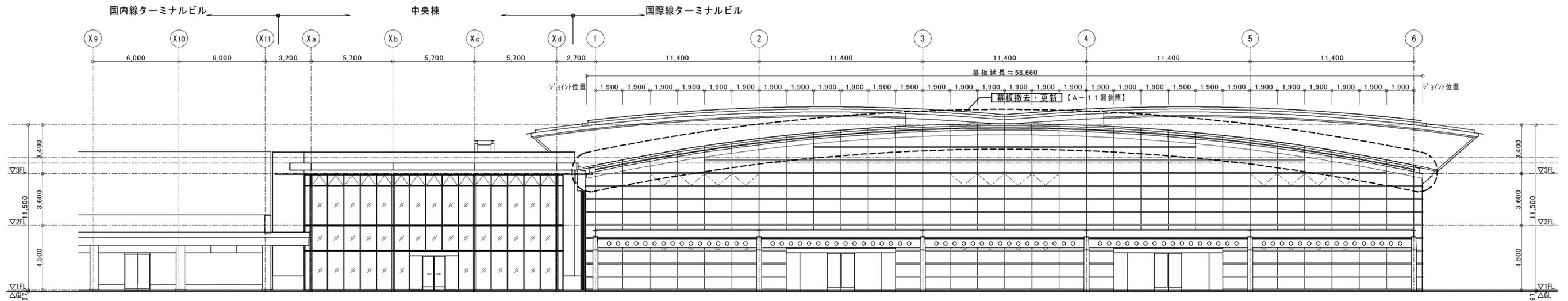
3階平面図 S=1:200



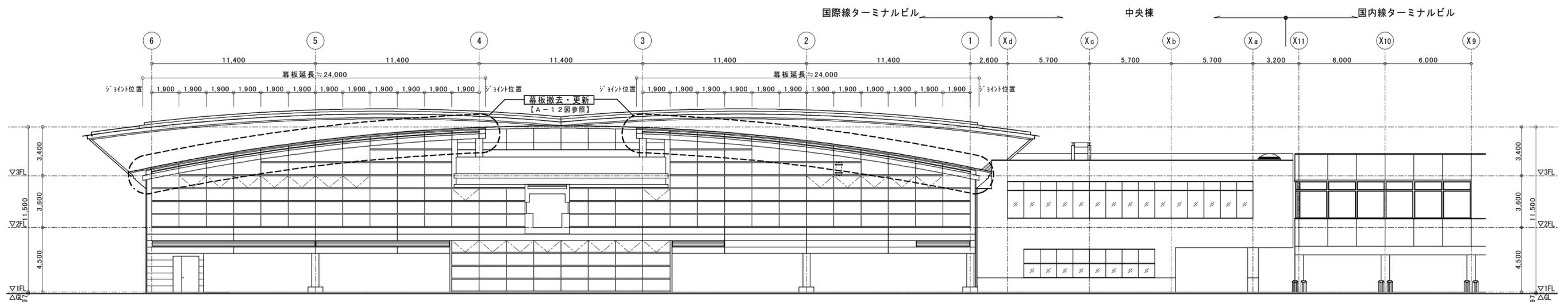
 有限会社 保木本設計	一級建築士事務所 鳥取県知事登録第883号	一級建築士登録 第139287号 管理建築士 保木本 啓一	CHECK 	DESIGN 	DRAW 	PROJECT NO 	TITLE 鳥取砂丘コナン空港国際線ターミナル屋根等改修工事	DRAWING NAME 3階平面図 (国際線ターミナル、中央棟)	SCALE 1:200	NO A-08
	3階平面図 (国際線ターミナル、中央棟)									



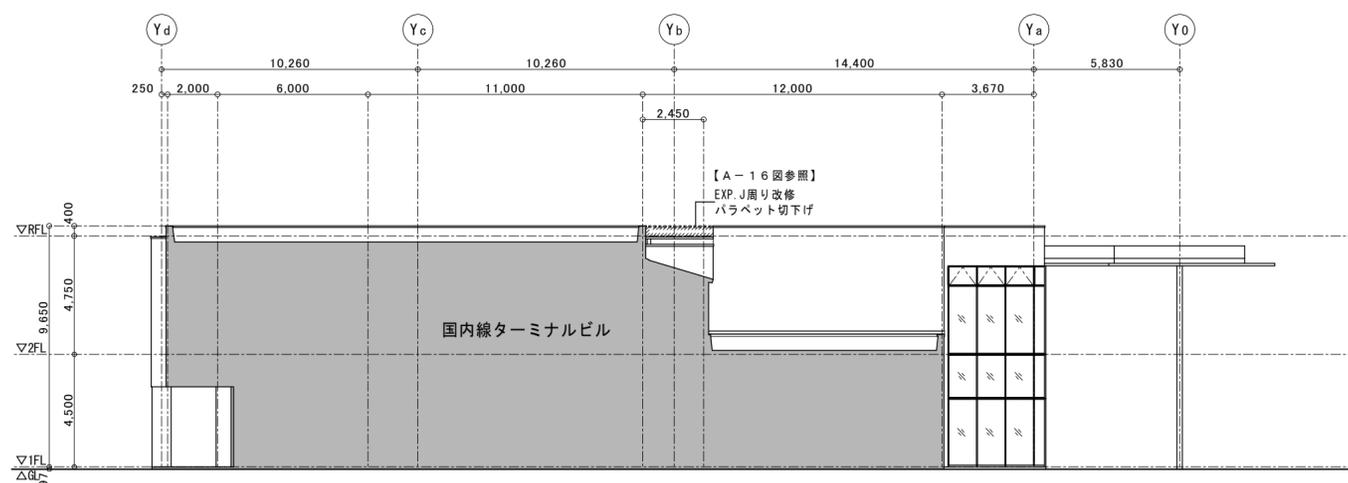
 有限会社 保木本設計 <small>一級建築士事務所 鳥取県知事登録第883号</small>	<small>一級建築士登録 第139287号 管理建築士 保木本 啓一</small>	<small>CHECK DESIGN DRAW PROJECT NO TITLE</small>   	<small>PROJECT NO TITLE</small> 鳥取砂丘コナン空港国際線ターミナル屋根等改修工事	<small>DRAWING NAME</small> 屋根伏図 (国際線ターミナル・中央棟)	<small>SCALE</small> 1:200	<small>NO</small> A-09



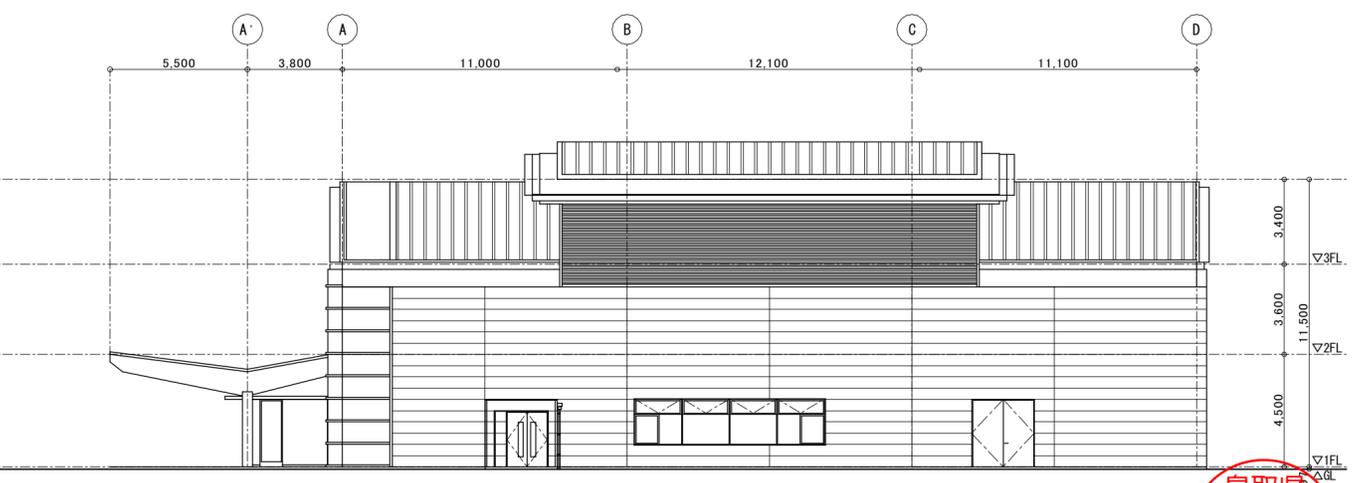
南側立面図 S=1:200



北側立面図 S=1:200



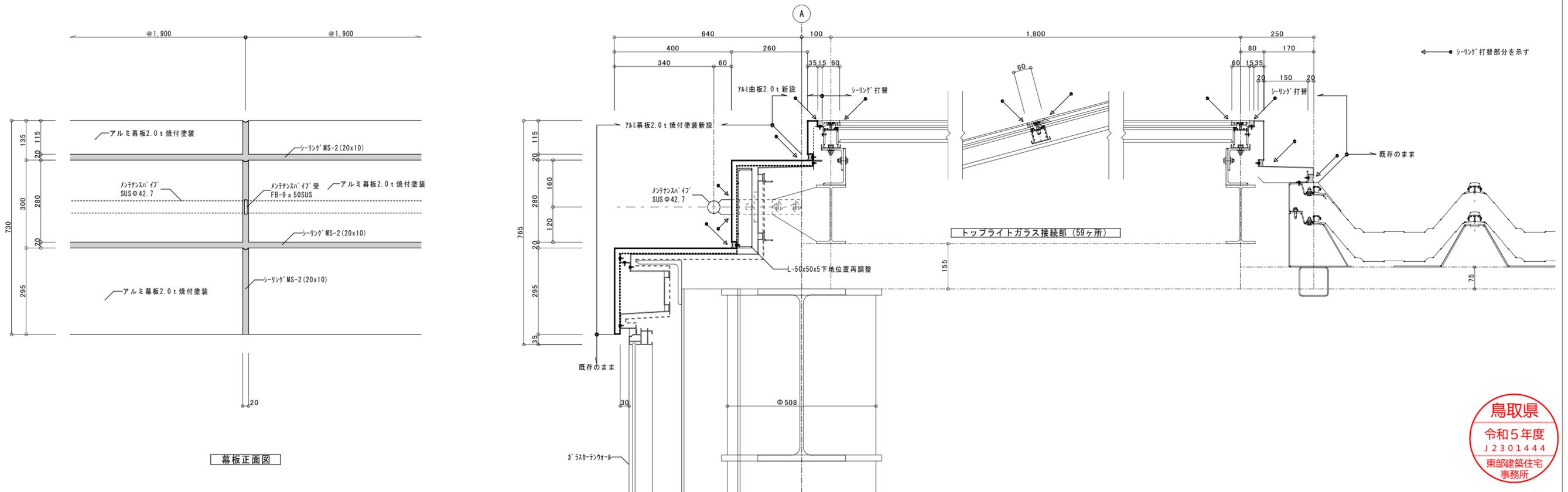
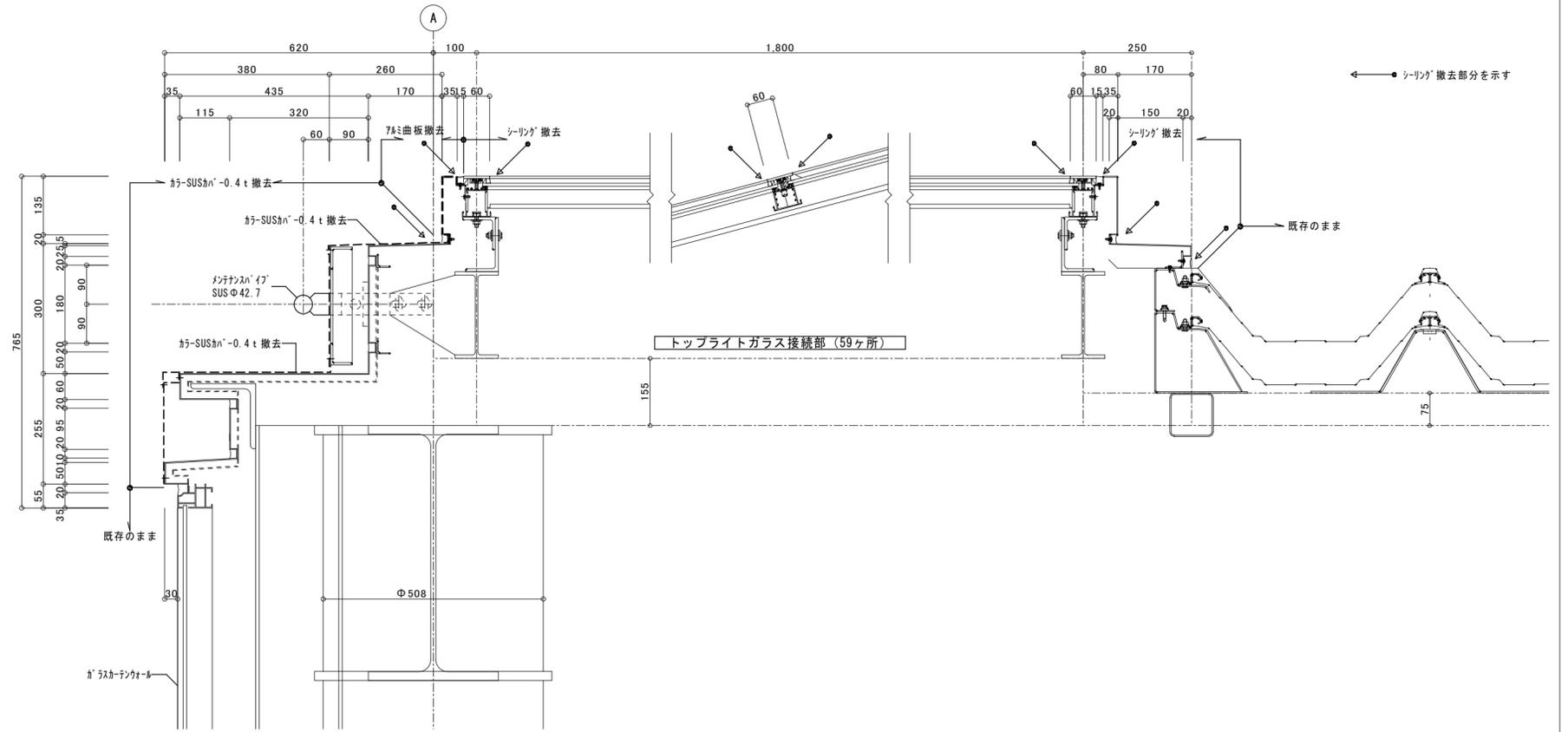
中央棟西側立面図 S=1:200



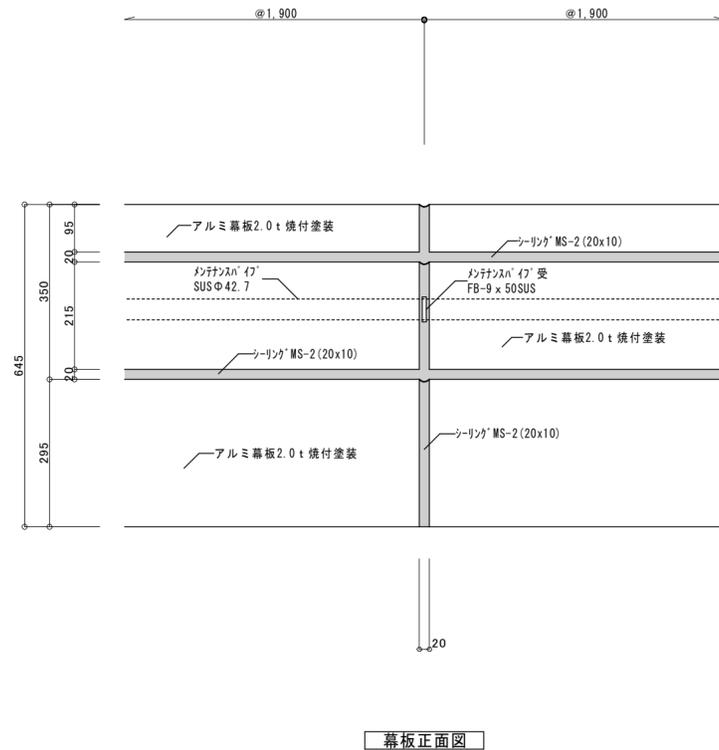
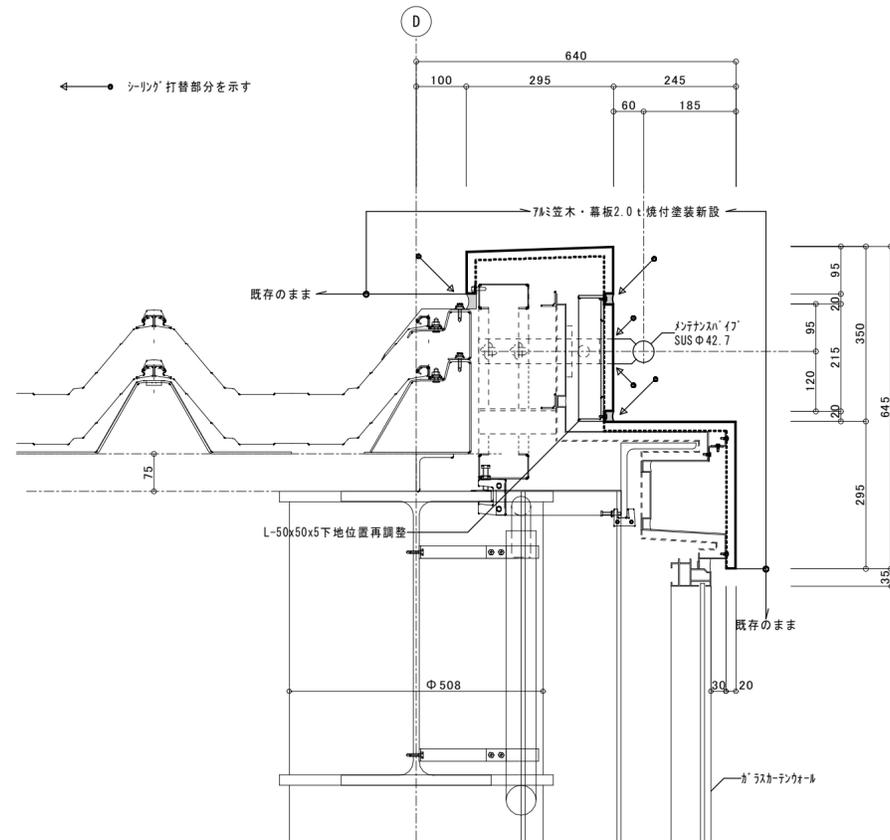
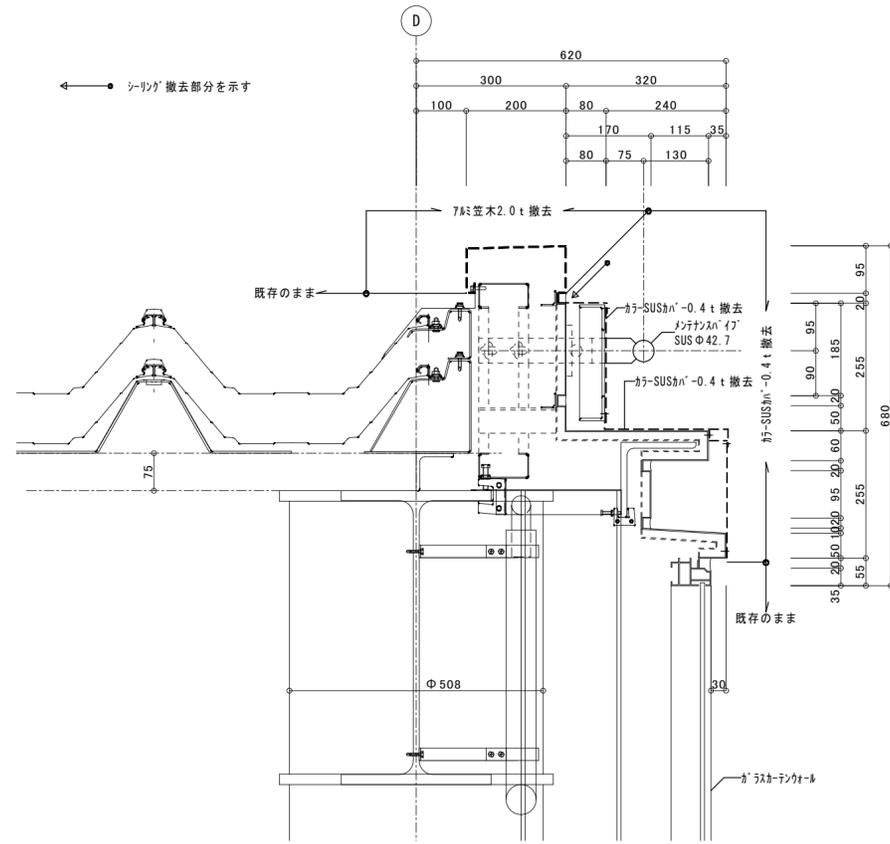
国際線ターミナルビル東側立面図 S=1:200



 有限会社 保木本設計	一級建築士事務所 鳥取県知事登録第883号	一級建築士登録 第139287号 管理建築士 保木本 啓一	CHECK 	DESIGN 	DRAW 	PROJECT NO	TITLE 鳥取砂丘コンナン空港国際線ターミナル屋根等改修工事	DRAWING NAME 立面図 (国際線ターミナル、中央棟)	SCALE 1:200	NO A-10
	令和5年度 J2301444 東部建築住宅事務所									

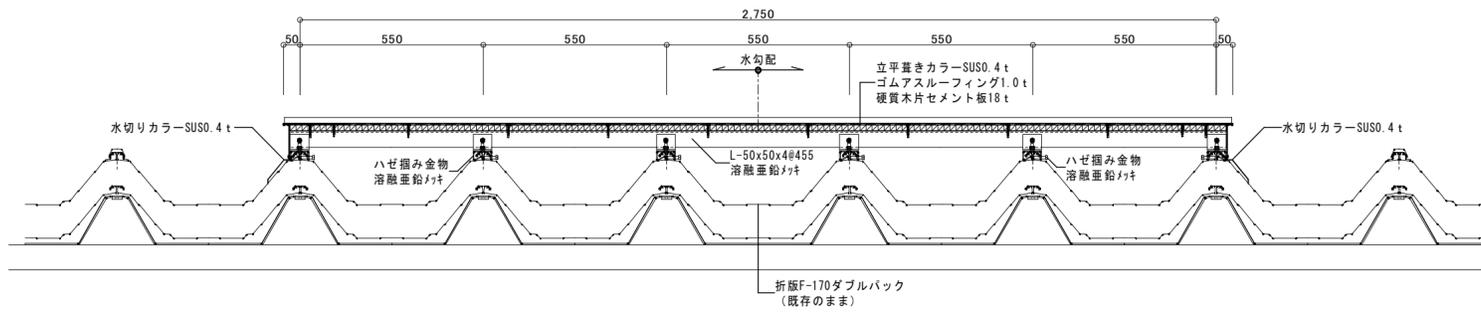


 有限会社 保木本設計	一級建築士事務所 鳥取県知事登録第883号	一級建築士登録 第139287号 管理建築士 保木本 啓一	CHECK 	DESIGN 	DRAW 	PROJECT NO 鳥取砂丘コナン空港国際線ターミナル屋根等改修工事	TITLE 鳥取砂丘コナン空港国際線ターミナル屋根等改修工事	DRAWING NAME 幕板 (A通り) ・トップライト詳細図 (改修前・後)	SCALE 1:10	NO A-11
	令和5年度 J2301444 東部建築住宅事務所									

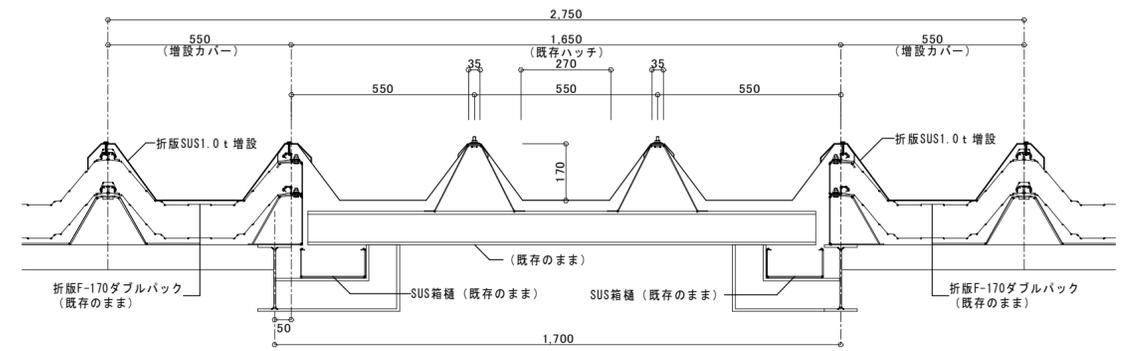


幕板正面図

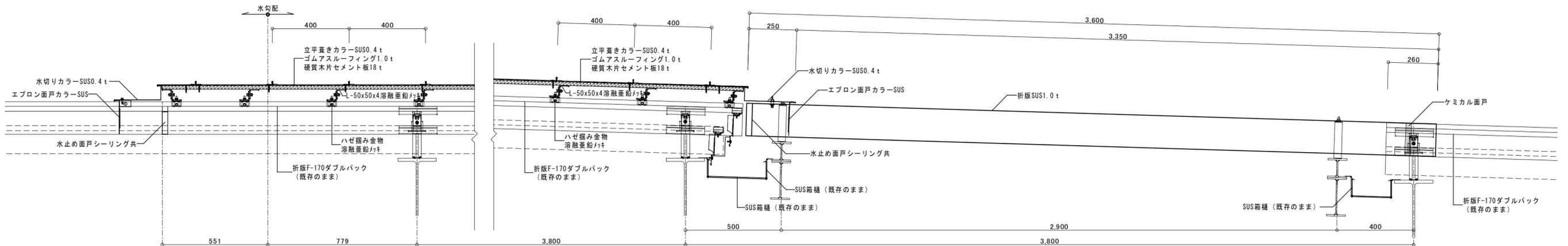




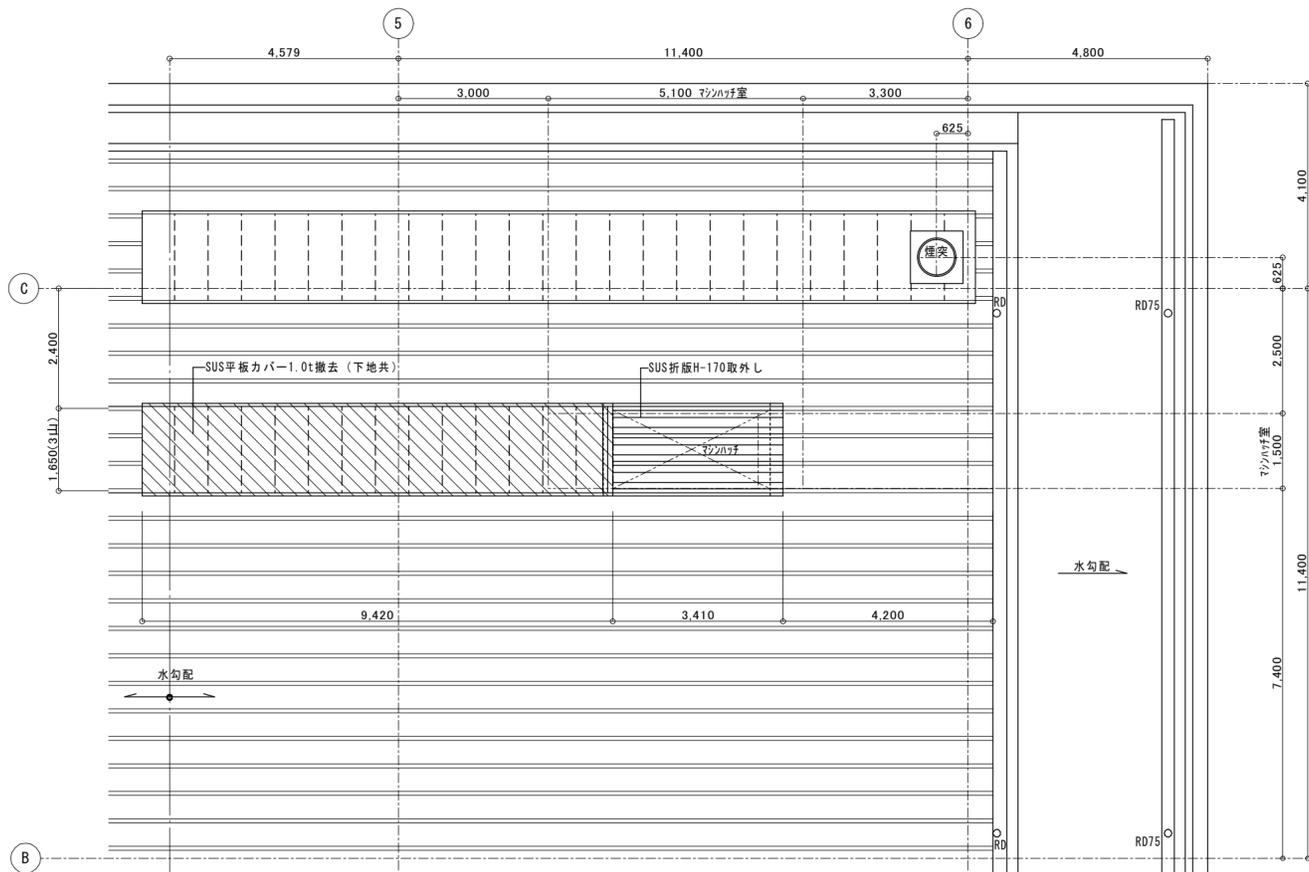
C-C断面詳細図 S=1:15



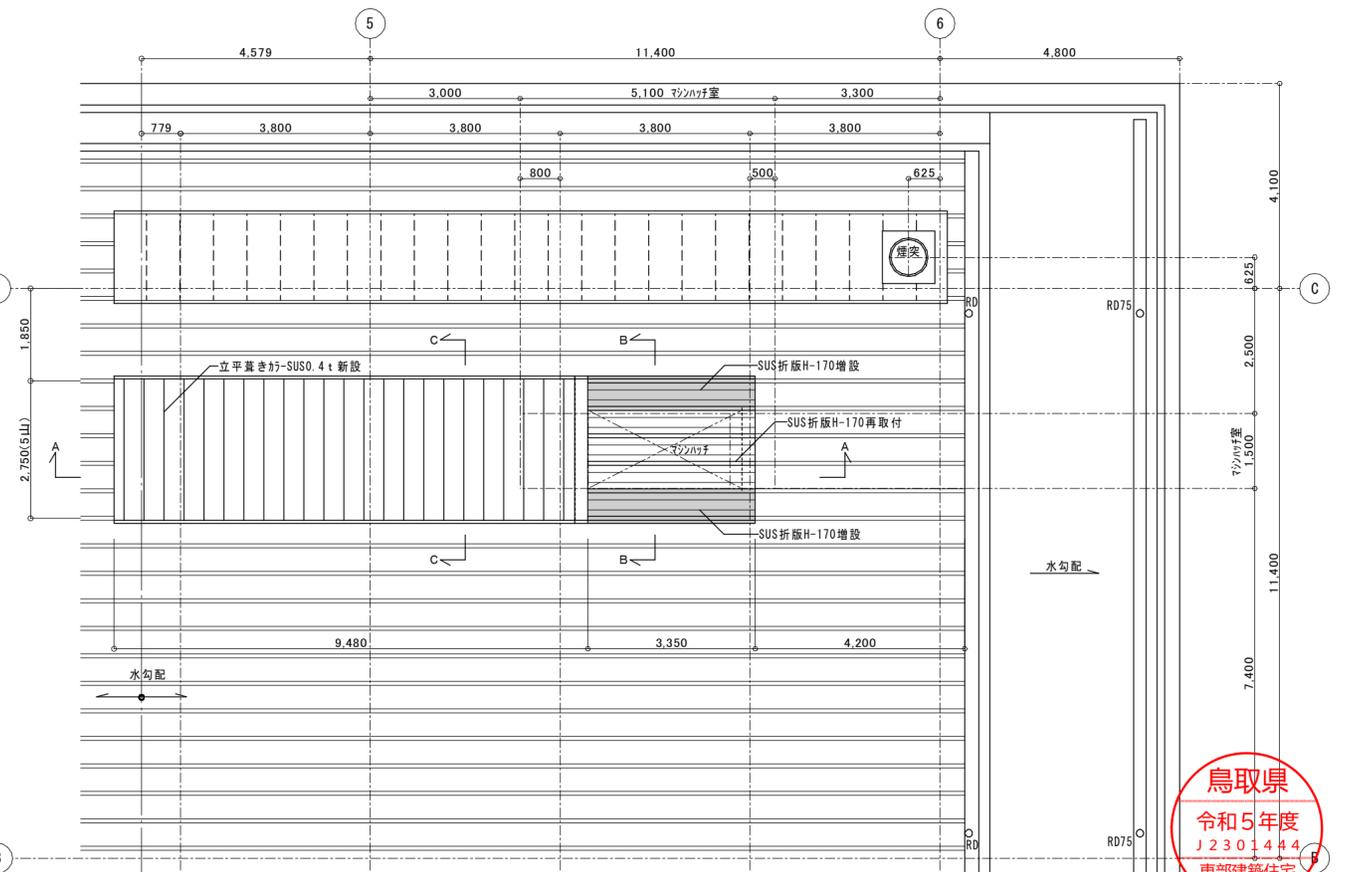
B-B断面詳細図 S=1:15



A-A断面詳細図 S=1:15



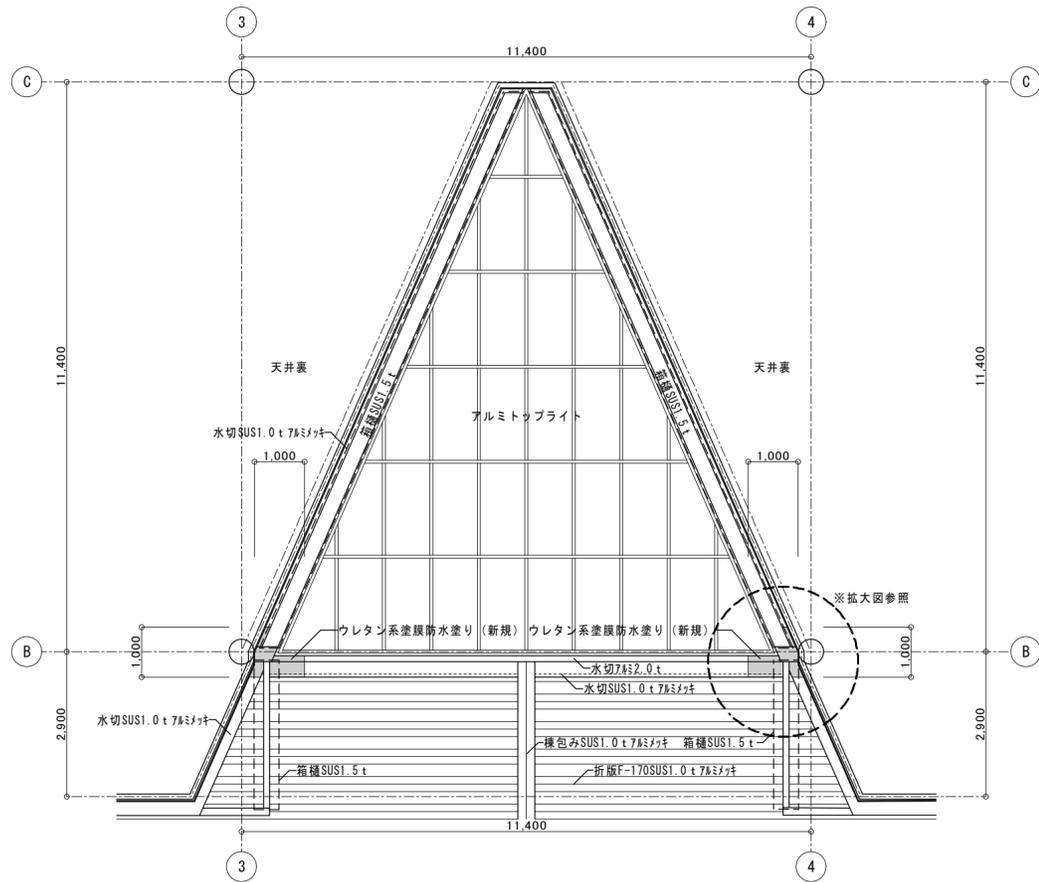
マシンハッチ周り屋根伏図 (改修前) S=1:100



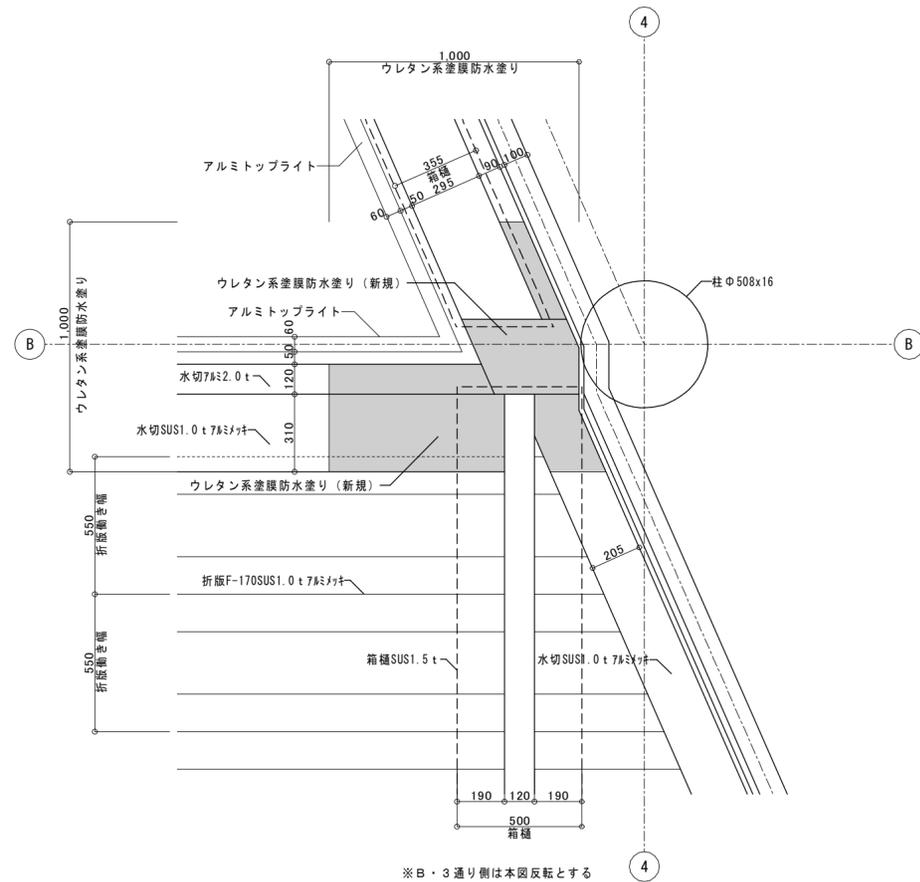
マシンハッチ周り屋根伏図 (改修後) S=1:100



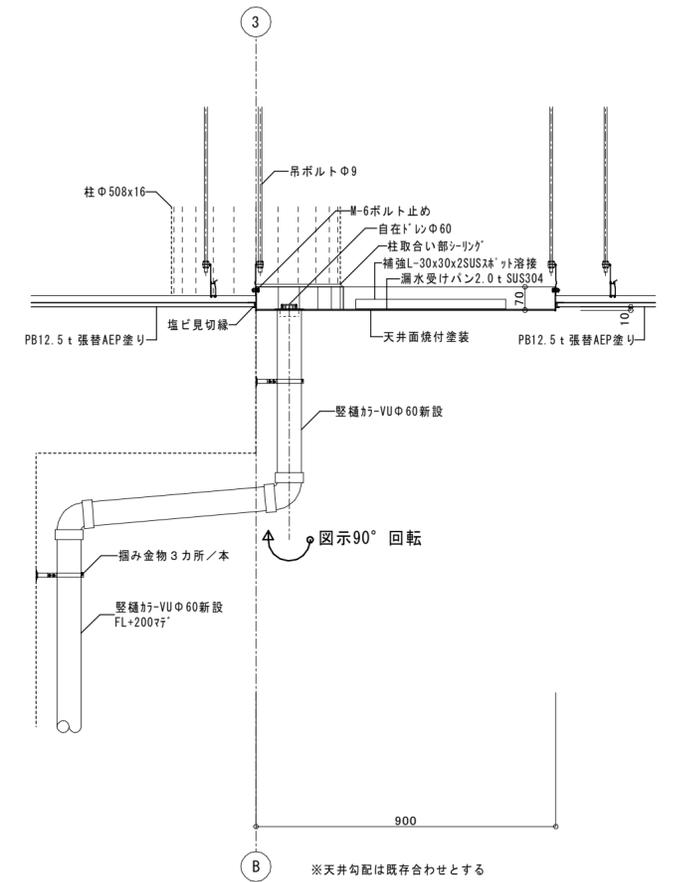
	一級建築士事務所 鳥取県知事登録第883号	一級建築士登録 第139287号 管理建築士 保木本 啓一	CHECK	DESIGN	DRAW	PROJECT NO	TITLE 鳥取砂丘コナン空港国際線ターミナル屋根等改修工事	DRAWING NAME マシンハッチ周り屋根伏図 (改修前・後)、断面詳細図	SCALE 1:100 1:15	NO A-13
	鳥取県 令和5年度 J2301444 東部建築住宅事務所									



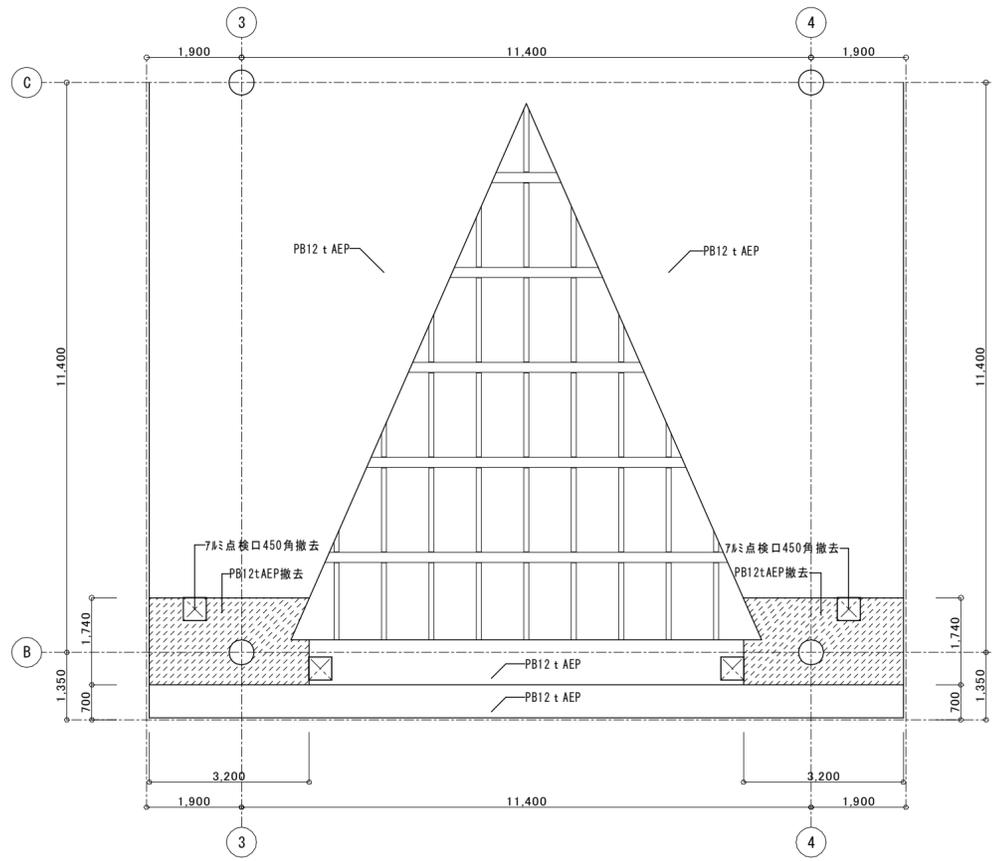
センタープラザ上部屋根伏図 S=1:100



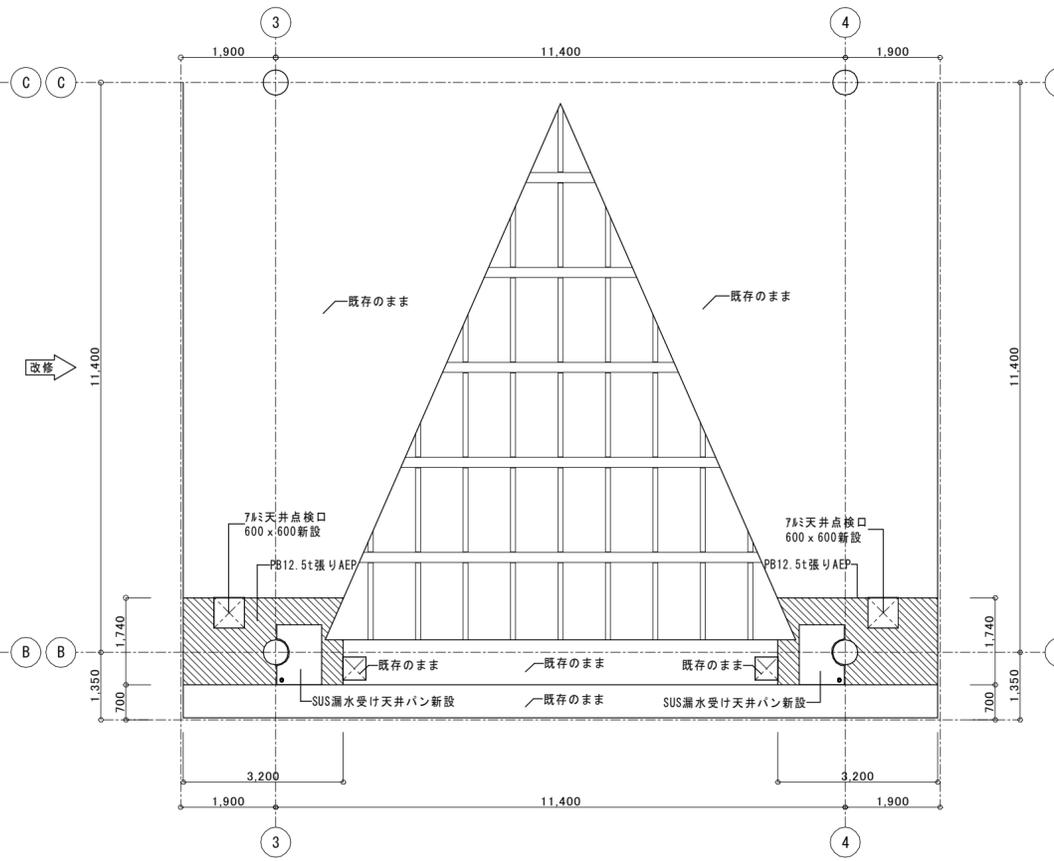
B・4通り部拡大図 S=1:20



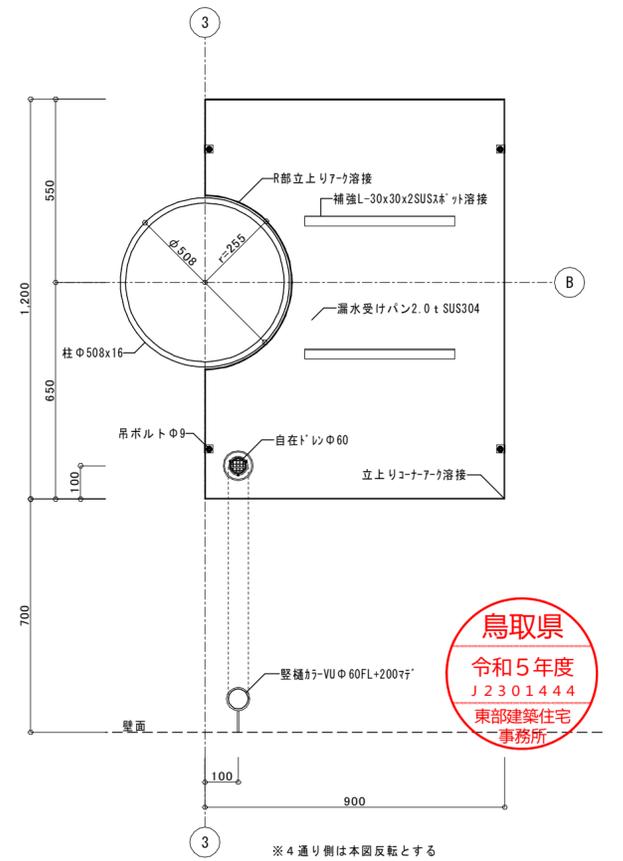
SUS漏水受け天井パン断面詳細図 S=1:15



センタープラザ上部天井伏図 (改修前) S=1:100

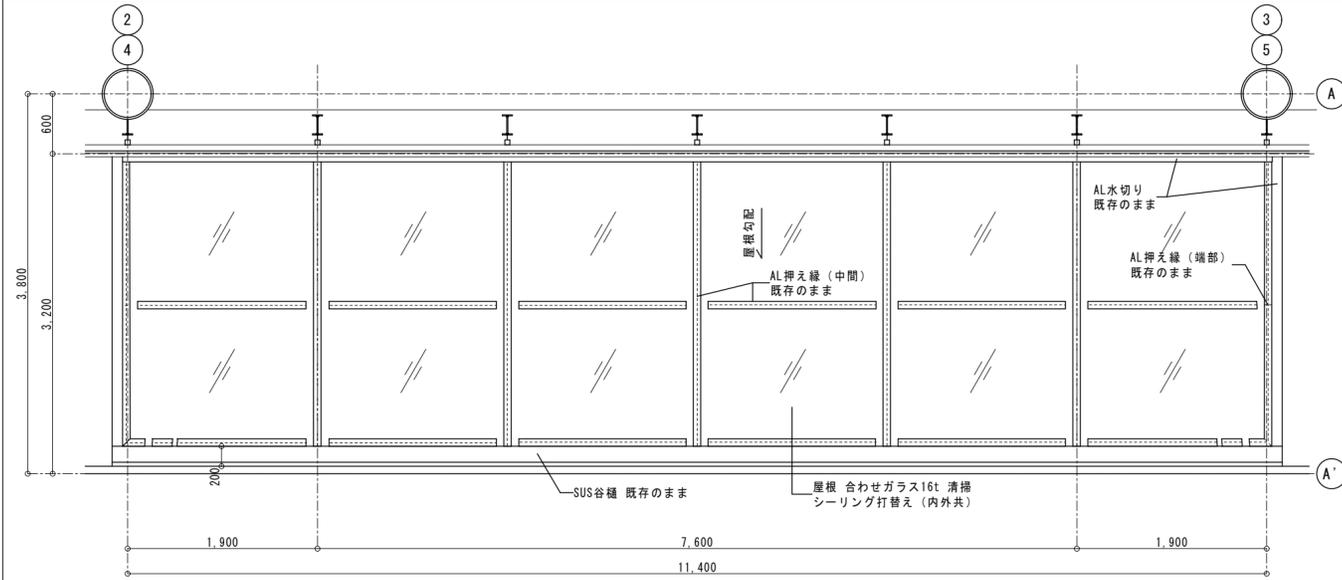


センタープラザ上部天井伏図 (改修後) S=1:100

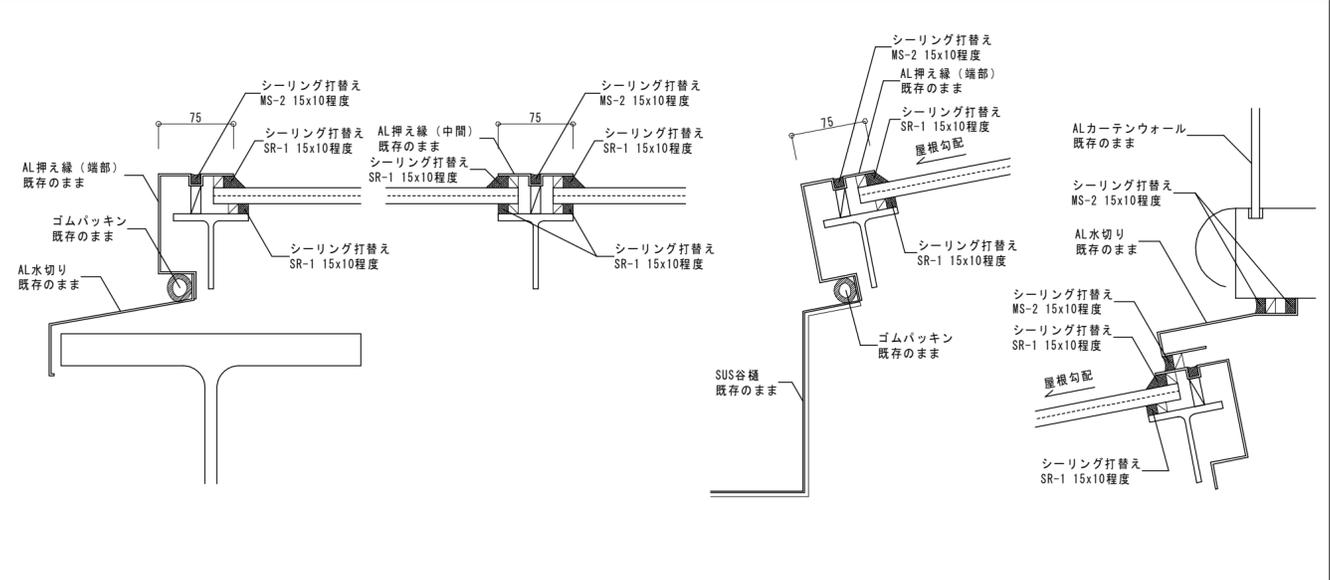


SUS漏水受け天井パン伏図 S=1:15

風除室1・2 屋根詳細図 (改修前・改修後)



風除室 屋根伏図 (改修前・改修後) S=1:50



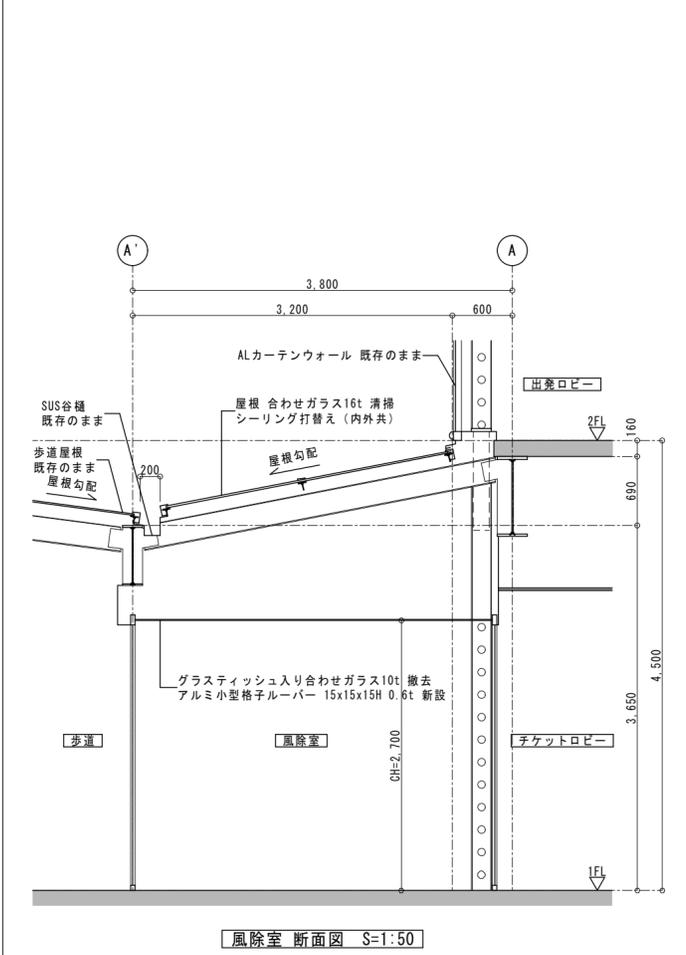
ケラバ詳細図 S=1:5

中間部詳細図 S=1:5

水下側詳細図 S=1:5

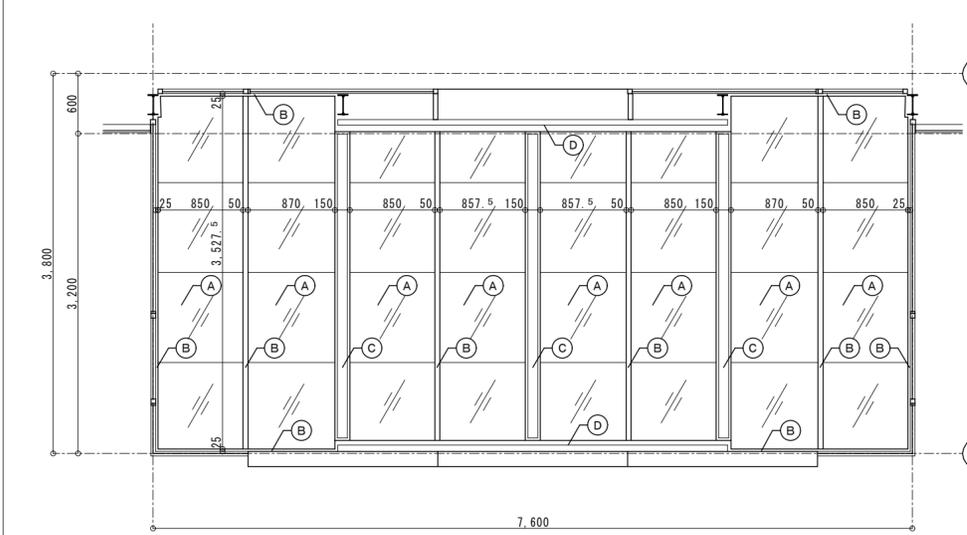
水上側詳細図 S=1:5

風除室1・2 断面図 (改修前・改修後)

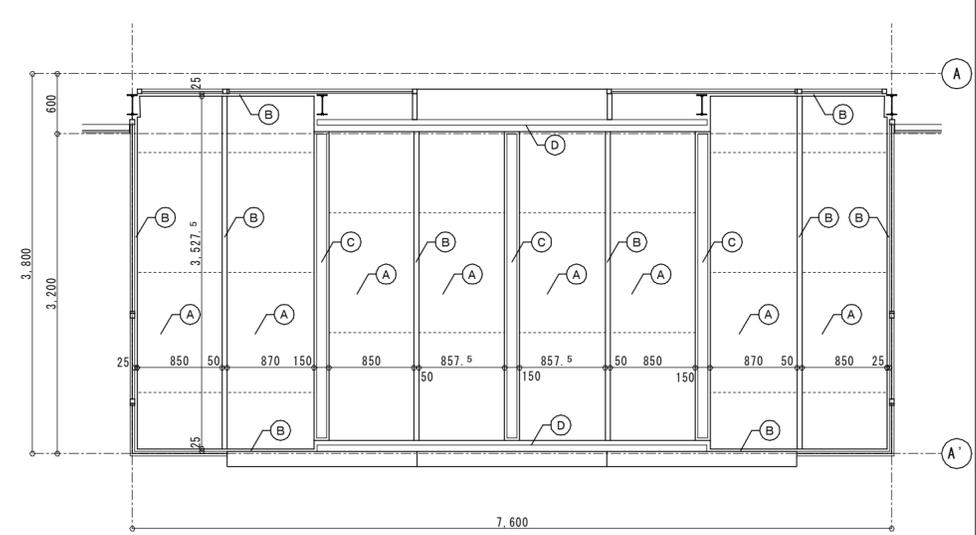


風除室 断面図 S=1:50

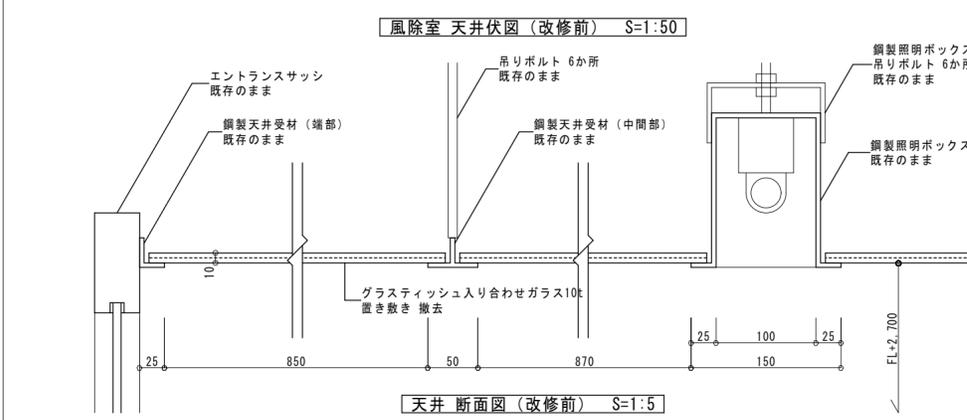
風除室1・2 天井詳細図 (改修前・改修後)



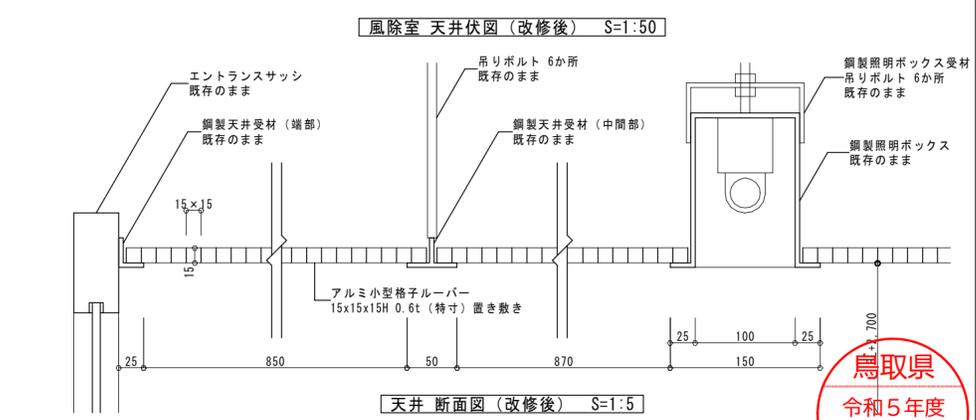
風除室 天井伏図 (改修前) S=1:50



風除室 天井伏図 (改修後) S=1:50



天井 断面図 (改修前) S=1:5



天井 断面図 (改修後) S=1:5

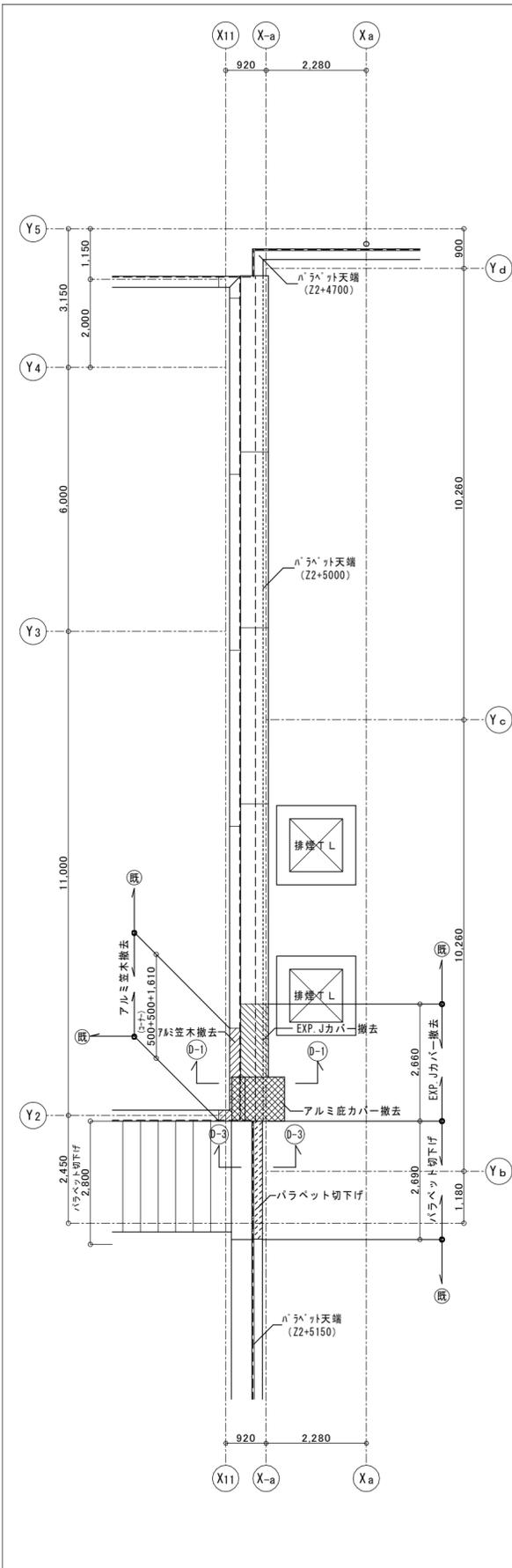
■注記
・風除室1、風除室2共に同様の改修とする。

仕上凡例

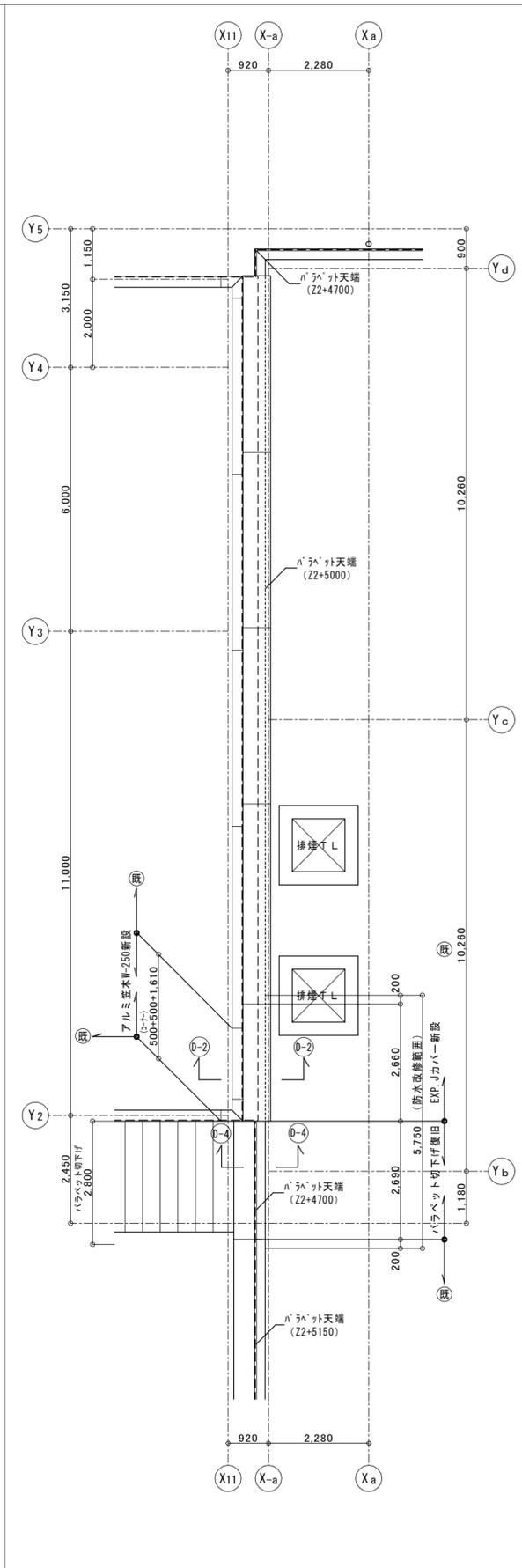
A	改修前	ガラスティッシュ入り合わせガラス10t 置き敷き 撤去	C	改修前	鋼製照明ボックス (PL-4.5t)
	改修後	アルミ小型格子ルーバー 15x15x15H 0.6t 置き敷き 新設		改修後	既存のまま
B	改修前	鋼製天井受材 (PL-4.5t)	D	改修前	自動ドアエンジンボックス
	改修後	既存のまま		改修後	既存のまま

■注記
・アルミ小型格子ルーバーは吊りボルト等に対して落下防止ワイヤー (SUS1.0φ) を取り付けること。ワイヤーはルーバー1枚当たり2か所以上とし、対角に吊り合い良く股けること。
・アルミ小型格子ルーバーは下記同等品以上とする。
ABC商会 アルミナス
STS工法 (ジョイント部突付けクリップ留め)

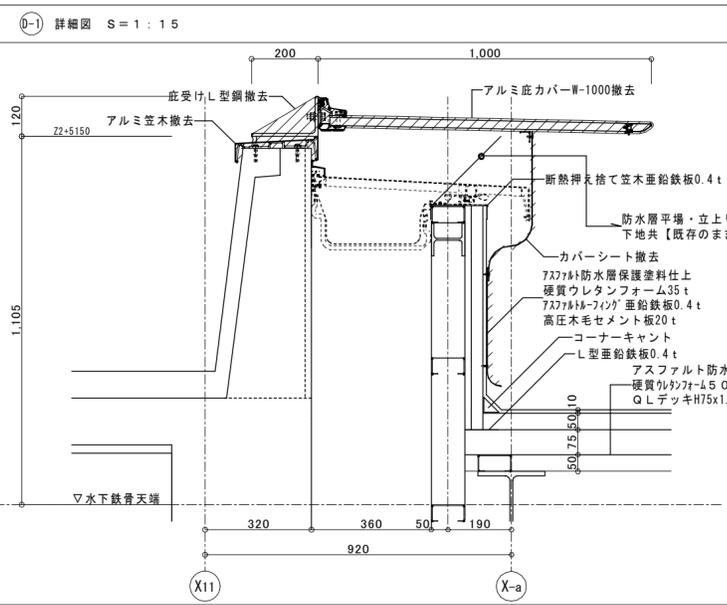




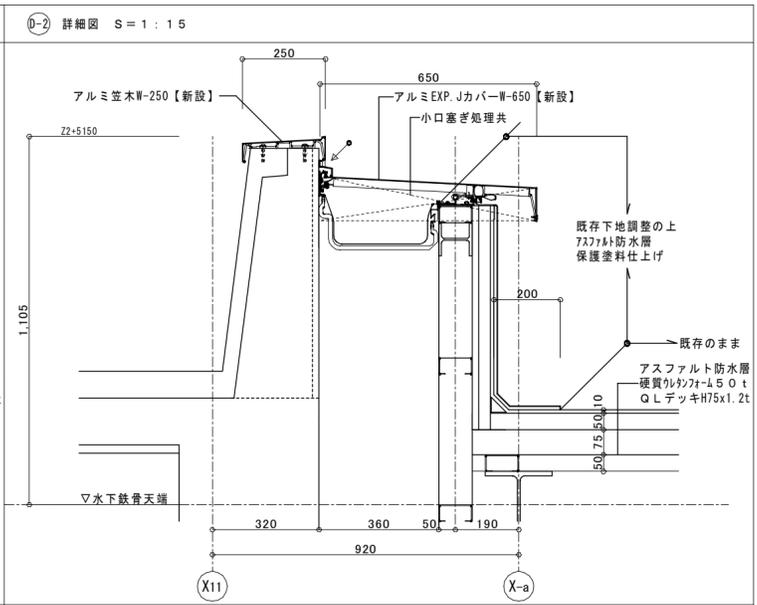
国内線ターミナルビル・中央棟EXP.J周り伏図 (改修前) S=1:100



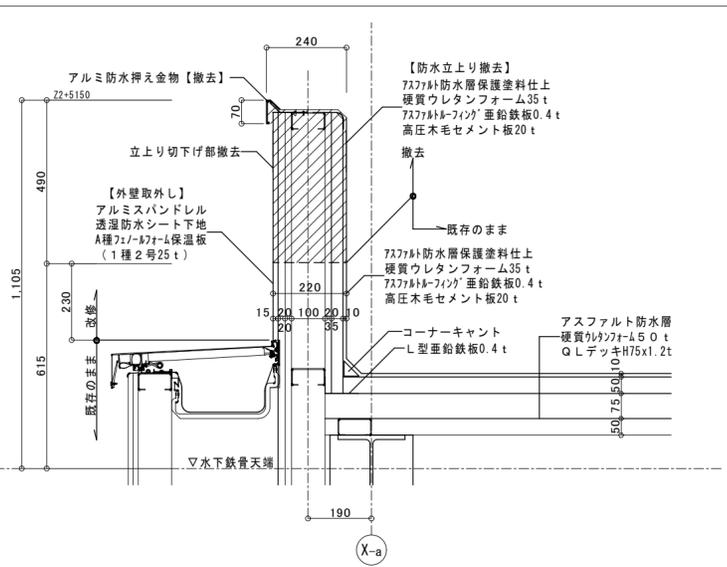
国内線ターミナルビル・中央棟EXP.J周り伏図 (改修後) S=1:100



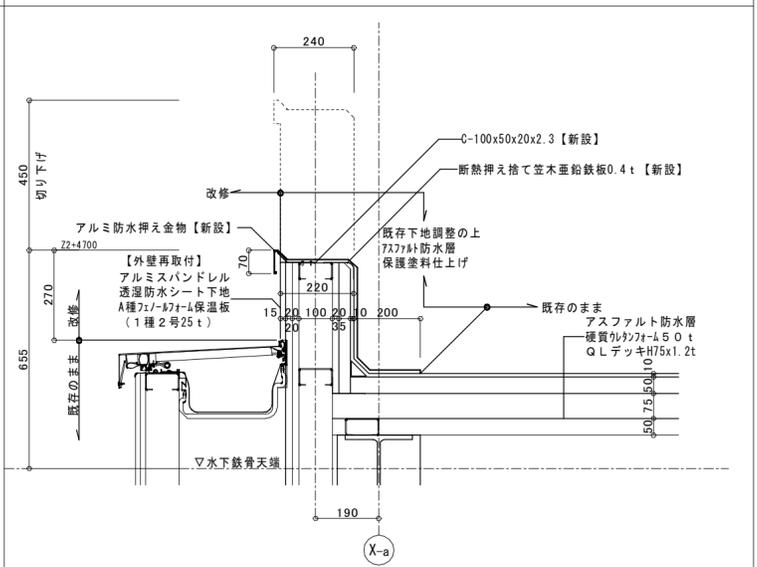
D-1 詳細図 S=1:15



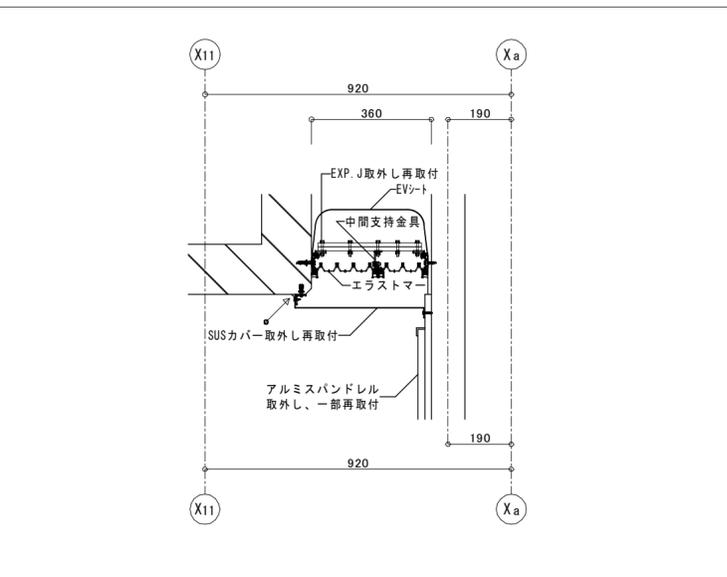
D-2 詳細図 S=1:15



D-3 詳細図 S=1:15



D-4 詳細図 S=1:15



壁EXP.J周り取外し・再取付 (参考図) S=1:15



一 特記仕様 一

以下の仕様書を適用とする。

国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和4年版）」（以下「標準仕様書」という。）

国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和4年版）」（以下「改修標準仕様書」という。）

国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（令和4年版）」（以下「標準図」という。）

一 注記 一

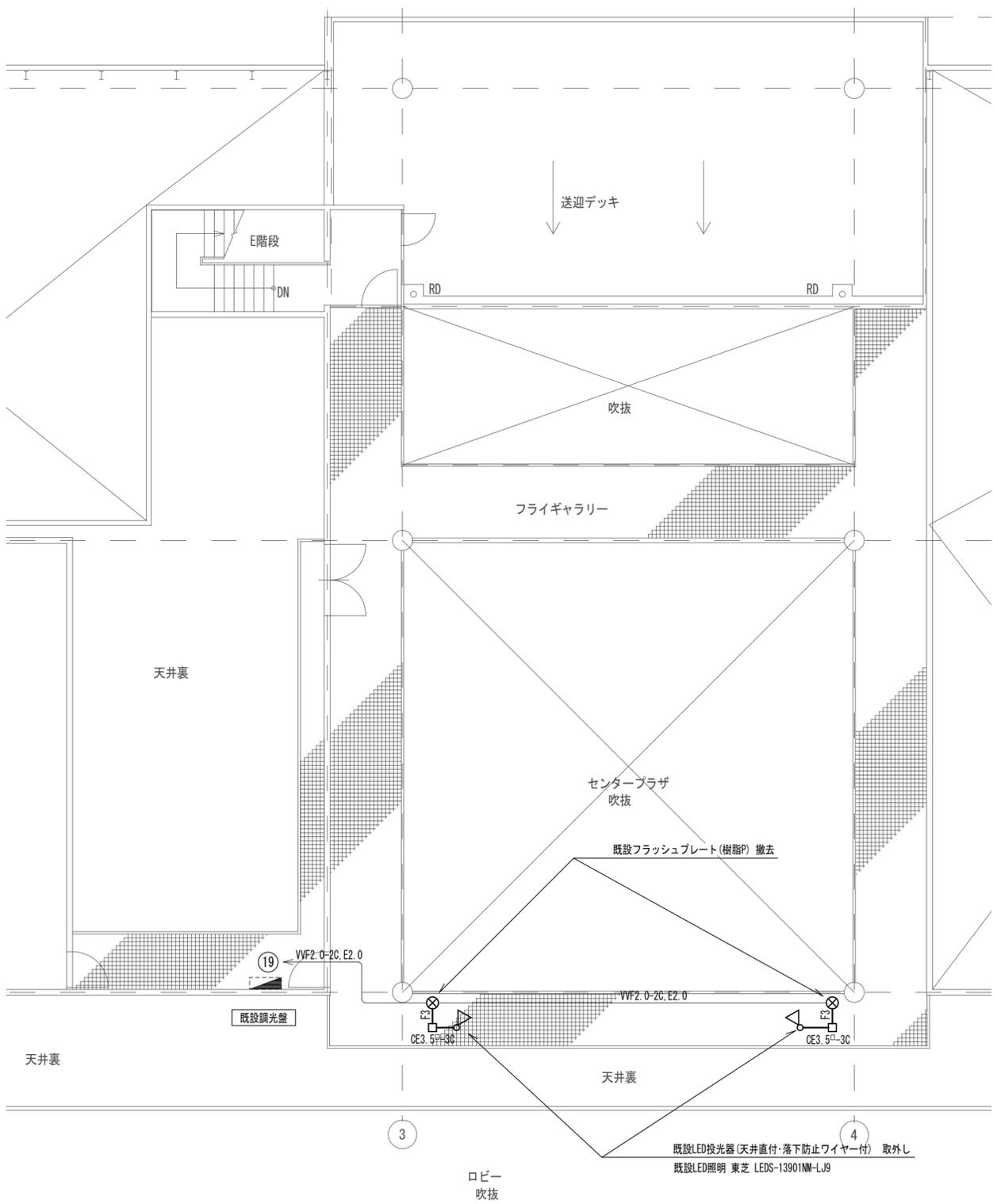
1. 図中大線を撤去とし、細線は既設のままとする。
2. 図示なき機器・配線等ある場合は、監督員と協議すること。

凡 例

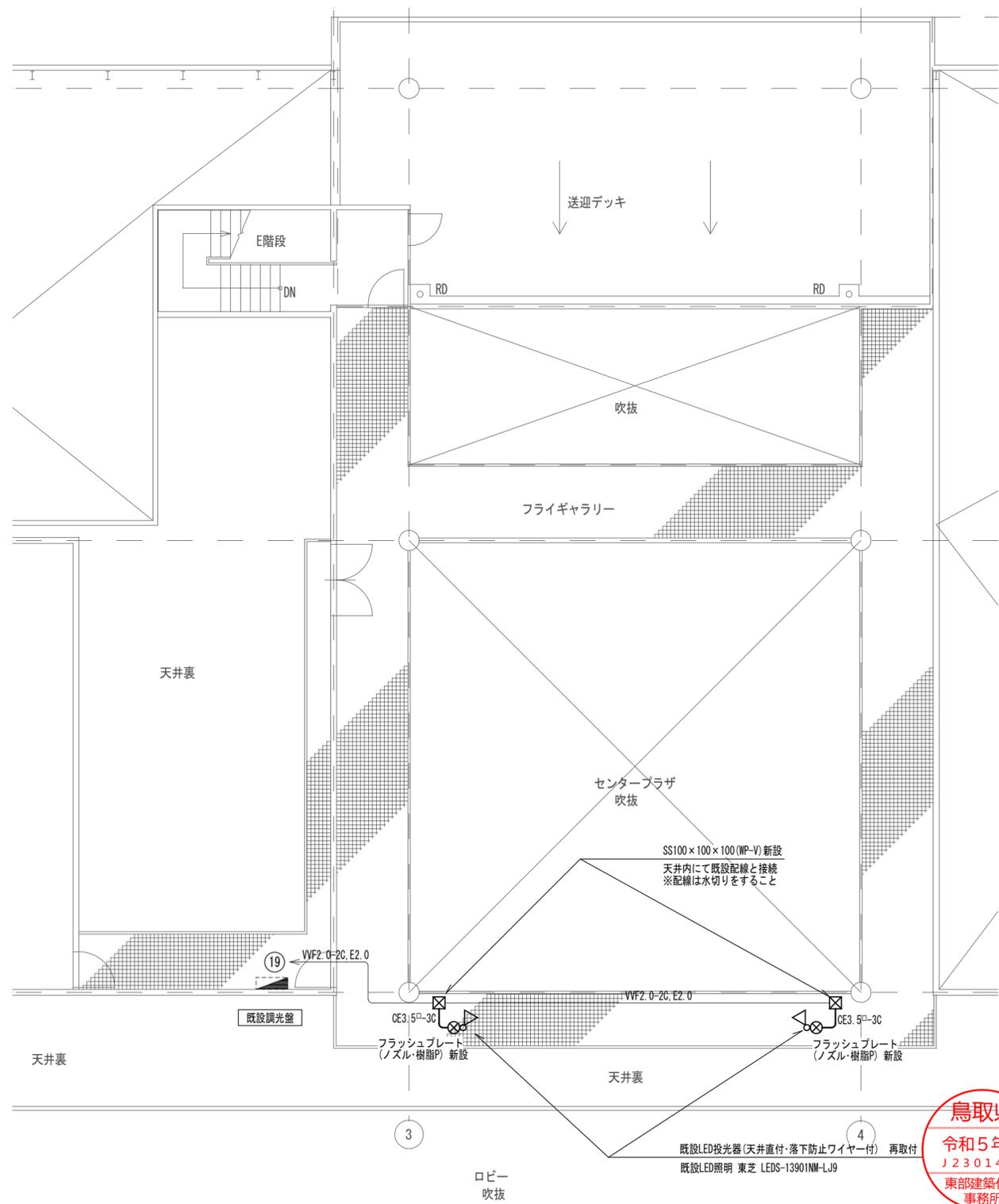
記号	名称	仕様
■	既設調光盤	既設 屋内鋼板製自立形 既設のまま
○	LED投光器	天井直付 既設取外し再取付
⊗	フラッシュプレート(樹脂P)	図示による 撤去・新設
⊠	プルボックス	図示による 新設
□	アウトレットボックス	中浅 C付 撤去

図中、特記なき配管及び配線は下記による。

F3 EM-EEF1.6-3C (天井隠蔽配線)



電灯設備 3階センタープラザ吹抜廻り撤去図 S=1:100 【改修前】



電灯設備 3階センタープラザ吹抜廻り改修図 S=1:100 【改修後】

